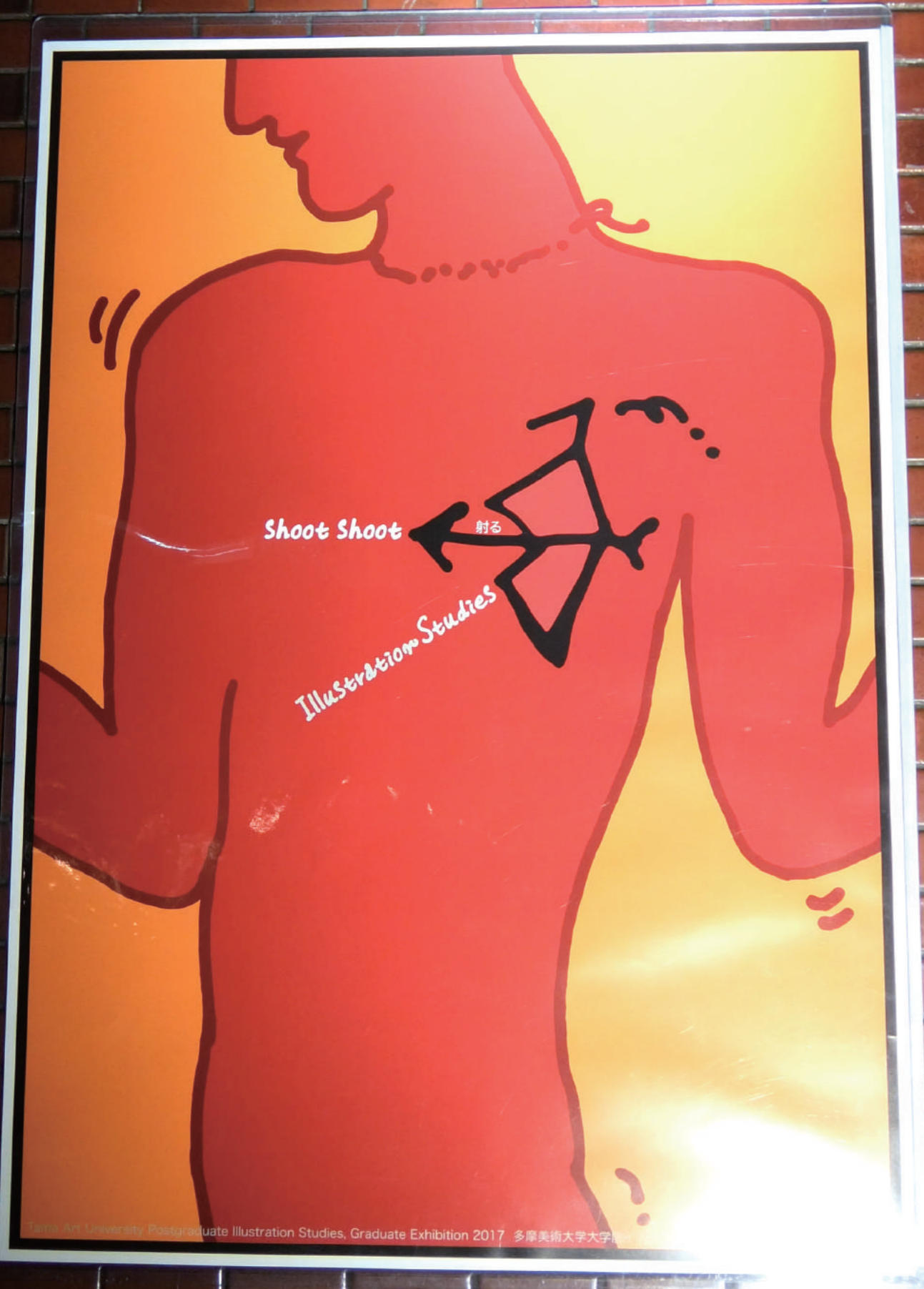


Report-8 2017-2016 Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka



5610 BAN・KAN



ごあいさつ

秋山 孝

秋山孝ポスター美術館長岡・館長
多摩美術大学・教授

秋山孝ポスター美術館長岡(APM)は、2017年7月9日で創立8周年を迎える。地元社会貢献を目指して上質な活動をしてきた。さらに上質なものにするために、APMの実態を分析した結果、大幅に改革することにした。1.これまで通りに入館料の無料を維持する、2.必要のない予算を削減する、3.不必要な開館を行わない、4.来館者に対するサービスの質を向上させる、5.APMの行う本来の目的に沿うことを実現する。例えば、APMのポスターコレクション研究の充実や日本ブックデザイン賞の継続発展などに重要な時間を割くことにした。よって、経費分配の正当性をはかった。

そして、下記の通りウェブサイトで「APMは、2017年5月よりAPM・蔵とAPMをガイド付きで案内いたします。入館料は無料のまま、開館日が週3日(金・土・日曜日)のみ、事前予約制となります」と案内した。

APMは2017年度より、APM・蔵(別館)とAPM(本館)をガイド付きで案内いたします。入館料は無料のままです。それに伴い、開館日が週3日(金・土・日曜日)のみ、事前予約制となります。より皆様にAPMの研究及び活動を知っていただき、親しみを持っていただけるよう、サービスの質を向上すると共に、研究に重きを置くことを目的としています。大幅な変更により皆様にはご不便をおかけいたしますが、ご理解、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

新APM開館案内 【事前予約制】

開館日：金・土・日曜日

開館期間：2017年5月13日(土)～11月26日(日)

見学時間：am11:00・pm 1:00・pm3:00の1日3回(各回所要時間 約1時間)

休館日：月・火・水・木曜日

冬期研究・準備休館期間：2017年11月27日(月)～2018年4月13日(金)

入館料：無料

案内施設：秋山孝ポスター美術館長岡・本館(登録有形文化財)、秋山孝ポスター美術館長岡・蔵

予約方法：専用フォームからお申し込みください。(詳しくは公式ウェブサイトをご覧ください)

※ 2017年度開館初日は、2017年5月13日(土)です。ご注意ください。

[2017年度展示スケジュール]

・第25回企画展 秋山孝ポスター展9「秋山孝の神秘3『パラダイム』展」 5/13(土)～9/30(土)

・特別展「日本ブックデザイン賞2017」 10/8(日)～10/28(土)

・第26回企画展「メッセージイラストレーションポスター展9」 11/4(土)～11/26(日)

※ スケジュールは変更する場合があります。

※ 「美術館大学」「懇親会」は今まで通り開催いたします。

※ スケジュール等の詳細は随時APM公式ウェブサイトにてお知らせいたします。

APMは変換期を迎えた。それは10周年目を迎えるにあたって、企画展、日本ブックデザイン賞、美術館大学、一流美術館大学、博物館実習、課外授業、ワークショップなどの充実をはかり、社会貢献を実践し実現する。法人会員、終身会員、特別サポート会員、サポート会員、一般会員によるサポーターズ倶楽部の皆様に感謝するとともに、ご報告いたします。

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka 2016-04-15

APM news 148

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2015年10月号 vol.177
池ポス展／創形美術学校



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

秋山孝長岡コレクション 160

長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展
<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



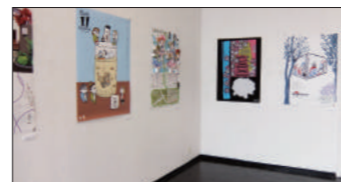
秋山 孝 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長
1952年長岡市生まれ。多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。2009年「秋山孝ポスター美術館長岡」、2013年「秋山孝ポスター美術館長岡・蔵」が完成。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE-HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞。他、多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランド、他で国際ポスター展の審査員として招聘。著書に「Chinese Posters (中国ポスター)」（朝日新聞出版）、「イラストレーションスタディーズ」(玄光社)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡
<http://apm-nagaoka.com/>



池ポス実行委員会は第10回「新池袋モンパルナス西口まちかど回遊美術館」の一つとして2015年5月14日から5月27日の間、創形美術学校ギャラリー・フントで「池ポス展」と題した池袋の街を活性化するプロジェクトの展覧会を企画した。「池ポス」というのは池袋をポスターによって知らしめる短縮のタイトルだ。実行委員会から池袋にある創形美術学校のポスターデザインの依頼を受けた。創形美術学校は長い歴史のある美術の専門学校で、池袋に新校舎を建て、現在まで至っている。その学校のシンボルマークは1990年8月にグラフィックデザイン科の新設にともない、ぼくがデザインした。それはグラフィックデザインの造形要素、点、線、面をモチーフにした。新入学をテーマに、シンボルマークと桜の花が散る校舎を描いた。



池ポス展／創形美術学校ギャラリー・フント
(上) 展覧会風景、(下) 池ポス実行委員会メンバー

[Title] ----- 池ポス展／創形美術学校
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] --- Offset printing
[Date] ----- 2015
[Client] ----- 新池袋モンパルナス西口まちかど回遊美術館／池ポス実行委員会
[Category] --- 文化
[Idea] ----- 新入学をテーマに、シンボルマークと桜の花が散る校舎を描いた。



多摩美術大学大学院イラストレーションスタディーズ
「メッセージイラストレーションポスター展7」
10月3日(土)～10月31日(土) 秋山孝ポスター美術館長岡
Tel, Fax - 0258-39-1233 E-mail - info@apm-nagaoka.com

OPEN

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka 2016-05-01

APM news 149

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)

2016年度 秋山孝ポスター美術館長岡 4月16日(土)pm1:00～pm2:00
運営委員会・サポーターズ倶楽部役員会合同会議



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233



2016年度運営委員会・サポーターズ倶楽部役員会合同会議を4月16日(土)に秋山孝ポスター美術館長岡 (APM)・蔵に於いて開催した。開会の挨拶で運営委員会会長・豊口協は、「8年目を迎えようとしている今、APMをどう発展させていくかが課題である。この先の大きなけじめの年となる10年目に、APMは社会から真の評価を得ることになるだろう。それに向けて皆さんと一緒にがんばっていききたい。」と語った。

議題は、2015年度のAPM事業活動報告から始まった。2015年度は3回の企画展、5回の美術館大学、3回のワークショップを開催した。その他の大きな活動は、初開催したコンペティション「日本ブックデザイン賞2015」と、11月に開催されたポリア国際ポスタービエンナーレに於けるAPMポスターコレクション初めての海外展示「日本のイラストレーションポスター展 - CALTEL ILLUSTRADO EN JAPÓN」であった。

2016年度のAPM事業活動計画は、3回の企画展、5回の美術館大学、3回のワークショップの他に、前年度に引き続き「日本ブックデザイン賞2016」を開催予定である。また、長岡造形大学との合同カリキュラム・地域協創演習「すずめ隊」の本格始動が要点のひとつである。APMと長岡造形大学と長岡市がどのような関係を築くことができるのかを探っていく。また、学生がAPMの活動を通して、何を学び、それがどのように活かされ、そして地域にどのように貢献していくのかを研究していく。2015年度決算報告および2016年度予算案の説明も行い、最後に出席者全員による採決をし、全ての議案が満場一致で承認された。

「今年度も丁寧に緻密に合理的に、研究の成果をあげながら、社会に貢献していきたい。そして、善い成長をし、魅力的な文化的活動を目指して今年度もがんばっていききたい。」という館長の言葉で今年度の合同会議は幕を閉じた。(たかだみつみ・APM事務局長)

出席者 : 14名
運営委員会 : 秋山孝(館長)、豊口協(会長)、牧野忠昌(副会長)、高田清太郎(副会長)、高田勉(幹事)、杉山光三(幹事)、丸山博(幹事)、北村敏雄(オブザーバー)
サポーターズ倶楽部役員 : 高田清太郎(会長)、御法川哲郎(副会長)、秋山孝(顧問)、覚張良裕(理事)、今井進太郎(理事)
事務局 : たかだみつみ(事務局長)、森山奈帆、神林弘子

欠席者 : 8名(委任状提出済み)
運営委員会 : 秋山善広(幹事)、渡辺誠介(幹事)
サポーターズ倶楽部役員 : 小川八重子(理事)、山本敦(理事)、渡辺千雅(理事)、高田彰(理事)、平澤広栄(理事)、脇屋雄介(理事)

APM news 150

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

第32回美術館大学 4月16日(土) am3:00~pm4:30 / 受講者:61名

「登録有形文化財について」 講師:平山育男、秋山孝、大町駿介



国の文化審議会が、秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) 本館の建物を登録有形文化財に登録するよう、文部科学省に答申した。(2016年3月12日付新潟日報・朝日新聞掲載) これに伴い、2016年度最初の企画展は「宮内・撰田屋百景展2」を開催し、初日の第32回美術館大学のテーマは「登録有形文化財について」とした。講師には、登録有形文化財に精通している平山育男教授 (長岡造形大学) と宮内・撰田屋地域の建物の魅力を研究している大町駿介助手 (多摩美術大学) を招き、APM館長・秋山孝 (多摩美術大学・教授) の進行で行なった。

前半は平山教授が資料や画像を用いながら、国の登録有形文化財について講じた。平山教授は2日前から続く「熊本地震」に言及した後、本題に入った。そもそも登録有形文化財というものができるのは、地震の影響があるという。震災などが起きた場合、国宝や重要文化財に登録された建造物は状況を把握しやすく、適切な対応が可能であるが、それに満たないことから重要文化財になるであろう登録候補の建造物を守るために、登録有形文化財が1996年 (阪神淡路大震災の翌年) に設けられた。登録する為の必要条件是築後50年以上であるということだ。その上で、国土の景観に寄与していること、造形の規範となっていること、再現することが容易ではないこと、などの十分条件が加わってくる。

宮内・撰田屋地区にはすでに6件の建物が登録されており、APMが晴れて登録されるとこの地域では7件目となる。この地域の登録有形文化財の特徴は、生業に基づいた建物であることが挙げられる。撰田屋地区は醸造業が今でも盛んであるが、それぞれの生業の特徴が建物に現れており、それがそのまま建物の特徴となっている。APMの建物も現在は美術館だが、かつて銀行であったことが今の姿からも見ることができる。有形登録文化財は、建物の経歴・美しさ・特徴を残しながら、上手く補修・補強し、使いながら保存をしていくことが重要なのだ。未来に向けて文化財は地域と共にあるべきであると平山教授は考える。建物自体がその町のありかたを表現しており、それを上手く伝えることが建物が町に愛されることに繋がる。すると、人々が興味を持つ魅力的な建物となり、町の魅力となるのだ。

続いて平山教授は、APMの登録申請までの道のりを5W1Hを用いて説明した。この6つの要素を明らかにする作業は、建物自体に残る痕跡や当時の新聞等、手がかりになるものを探すところから始まり、ひとつひとつ分析し、根拠を見つけ出し、証明するという地道な作業の繰り返しであることが、平山教授の説明からわかった。

次に話題は大町助手の研究へと移った。大町助手は宮内・撰田屋地区の建物の特徴を分析し、イラストレーションにするとこの研究を行なっている。大町助手は、この地域の建物の中で登録有形文化財にしたい建物は「掘時計店」であるという。その魅力は「普通だから」だという。普通にそこにある建物が、使われながら保存されている姿が大町助手は魅力を感じるのだ。時に補修が過剰になりすぎて魅力が半減してしまっている建物を見ると悲しくなる。大町助手は、「修繕の跡は建物の年輪である」と語り、掘時計店はそれが美しく現れているという。

最後に秋山は、建物の価値を分析・証明してくれる人、支えてくれる人、実行してくれる人、活用してくれる人がおり、その先に新たなものが生まれることを期待しているとまとめた。これからも多くの人の支えのもと、地域と共にAPMの建物が愛され続けることを願っている。(たかだみつみ・APM事務局長)

APM news 151

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2015年11月号 vol.178

秋山孝の神秘「メタファー」展

Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

秋山孝長岡コレクション 161

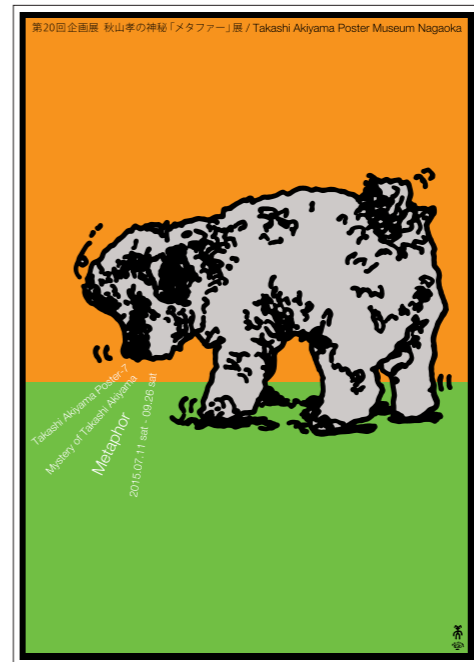
長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展
<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



秋山 孝 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長
1952年長岡市生まれ。多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。2009年「秋山孝ポスター美術館長岡」、2013年「秋山孝ポスター美術館長岡・蔵」が完成。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE-HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞。他、多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランド、他で国際ポスター展の審査員として招聘。著書に「Chinese Posters (中国ポスター) (朝日新聞出版)」、「イラストレーションスタディーズ」(玄光社)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡
<http://apm-nagaoka.com/>



[Title] ----- 秋山孝の神秘「メタファー」展
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] --- Offset printing
[Date] ----- 2015
[Client] ----- 秋山孝ポスター美術館長岡 (APM)
[Category] --- 文化
[Idea] ----- 秋山孝の神秘展は、ポスター作品表現の秘密を解き明かすシリーズ。



秋山孝ポスター美術館長岡 現在、冬期休館中です。
春4月16日(土)より、「宮内・撰田屋百景展2」が始まります。
Tel, Fax : 0258-39-1233 E-mail : info@apm-nagaoka.com

CLOSE



第29回美術館大学 講演風景
(上)左・たかだみつみ、右・秋山孝、(下)作品解説

7. Message Illustration Poster in Nagaoka



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
 TEL 0258-39-1233

Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

秋山孝長岡コレクション 163

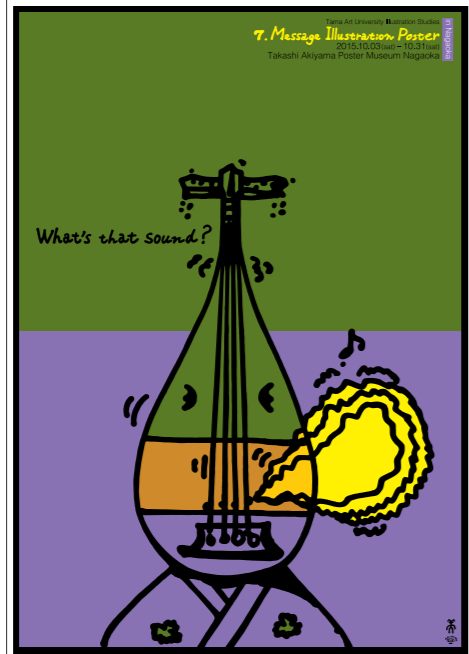
長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展
<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



秋山 孝 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長
 1952年長岡市生まれ。多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。2009年「秋山孝ポスター美術館長岡」、2013年「秋山孝ポスター美術館長岡・蔵」が完成。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE-HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞。他、多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランド、他で国際ポスター展の審査員として招聘。著書に「Chinese Posters (中国ポスター)」、(朝日新聞出版)、「イラストレーションスタディーズ」(玄光社)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡
<http://apm-nagaoka.com/>



[Title] ----- 7. Message Illustration Poster in Nagaoka
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] --- Offset printing
 [Date] ----- 2015
 [Client] ----- 秋山孝ポスター美術館長岡 (APM)
 [Category] --- 教育
 [Idea] ----- ポスターデザインは、演者が天平の調べを奏でている。その音色は「What's that sound? (あの音は何?)」と響いている。それは聞いたこともない音色だ。

秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) で開催される7回目となる展覧会、多摩美術大学・大学院生による「メッセージ・イラストレーション・ポスター展」だ。美術館における展示発表は各自の研究創作に客観的な視点をもたらす。3つのキーワードがあり「1. メッセージ (内容)、2. イラストレーション (表現)、3. ポスター (メディア)」がその指針となっている。継続は、かならず魅力的な発見がある。ポスターデザインは、正倉院の御物、天平文化の「紫檀木画槽琵琶 (したんもくがそうのびわ)」を演者の顔に見立て、天平の調べを奏でている。その音色は「What's that sound? (あの音は何?)」と響いている。それは聞いたこともない音色だ。



メッセージ・イラストレーション・ポスター展7
 (上) 第31回美術館大学講演風景、(下) 集合写真



秋山孝ポスター美術館長岡 現在、冬期休館中です。
 春4月16日(土)より、「宮内・撰田屋百景展2」が始まります。
 Tel. Fax : 0258-39-1233 E-mail : info@apm-nagaoka.com

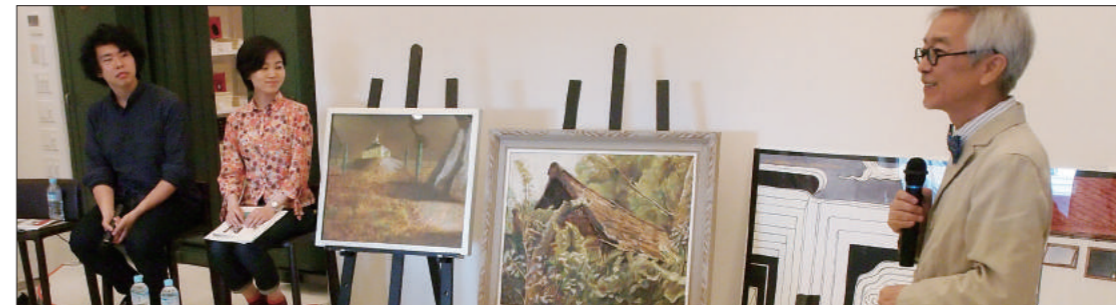
CLOSE

「創作者における宮内・撰田屋百景の魅力について」

5月28日(土)pm3:00~pm4:30 / 受講者:66名 / 講師:秋山孝、堀池真美、大町駿介



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
 TEL 0258-39-1233



5月28日(土)に開催された第33回美術館大学は、「創作者における宮内・撰田屋百景の魅力について」をテーマに掲げ、宮内・撰田屋地域の魅力を創作者の立場から講演した。講師はAPM館長・秋山孝(多摩美術大学・教授)、堀池真美助手(多摩美術大学)、大町駿介助手(多摩美術大学)の3名が務めた。

導入として秋山館長が美術館大学の7年間の足跡をたどり、今回の美術館大学に一般の参加者だけでなく、学生の姿が多く見られることに感慨を示した。物事には多様性が重要であり、一般と学生、多摩美術大学と長岡造形大学、日本人と外国人といったさまざまな価値観、環境の人々が同じ時間を共有するための場所としてAPMを提供したいと語った。

次に、秋山館長、大町助手が建物を題材に作品を描き続けた画家について紹介した。秋山館長は向井潤吉を例に挙げた。古い民家を描き、「民家の向井」と呼ばれた。その作品の中には長岡市川口(旧北魚沼郡川口町)を描いたものもあった。板壁と石置き屋根が並ぶ様子は当時の川口におけるごく普通の街並みで、特別変わった建物の姿はそこにはない。ひなびた地方の風景が描かれているだけである。作品発表当時は抽象画の評価が高かった時代であったため、向井の作品は批判を受けた。しかし、後年その堅実で真摯な作品制作への取り組みが認められ、理解されるようになったという。続いて大町助手は、今和次郎と岡鹿之助について言及した。大町助手は、省みられることの少ない建物に魅力を感じ、描き続けた両者を比較研究した。今和次郎は「日本の民家」等を著した民俗学研究者である。日本の日常に根ざした住宅、いわゆる「民家」を文章とイラストレーションで記録した。それまで見向きもされなかった「民家」を題材とし、そこに美しさを見いだしているところが非常に魅力的であると語った。対する岡鹿之助は、灯台や信号台、発電所などを描いた。このような建物は人目に触れたり親しまれたりすることは少ないが、そこに魅力を感じ制作している。生活の場ではない特殊な建物もまた、やはり人々に省みられることがない。岡の述べるところによれば、「自分の画風に堅牢さを持たせるために」古い建物の美しさを援用したという。

続いては堀池助手が自身の創作について語った。堀池助手は、何かを描くときというのは心が動いたときであるという。それは、対象物やモチーフ自体に魅力を感じることもあるが、個人的な思い出とつながっていることが大きいという。例えば出品作品の「サフラン酒造」。2009年のAPMオープン時に初めて訪れた宮内・撰田屋で、恩師・秋山館長の大学卒業制作作品を初めて見た感動が、鏝絵蔵への感動と結びつき、表現したいと思ったという。堀池助手の話を受け、秋山館長はその心の動きを「思い出の美的感覚」と表現した。創作者の心の動きによって作られた作品には、言葉では説明できない真実感が備わっている。それを大切にしたいと語った。

秋山館長は、「人が何も思わないところに何かを発見できる力」を持っているものが創作者であるという。人々が気づかず通り過ぎるようなところに心を動かされ、それを表現し、伝える力を持つものこそ創作者である、と。この「宮内・撰田屋百景シリーズ」でコレクションされた宮内と撰田屋の情景を描いた真実感のあるポスターの数々は、次の世代へと繋がり、また新たな試みへと発展していくだろうと語った。(森山奈帆・APM職員/APM公式ホームページより抜粋)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
 TEL 0258-39-1233

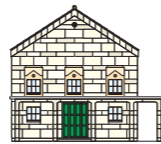
Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

秋山孝長岡コレクション 164

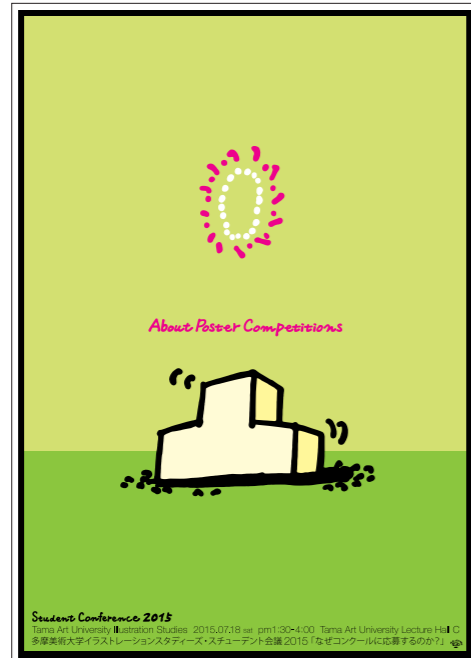
長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展
<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



秋山 孝 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長
 1952年長岡市生まれ。多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。2009年「秋山孝ポスター美術館長岡」、2013年「秋山孝ポスター美術館長岡・蔵」が完成。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE-HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞。他、多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランド、他で国際ポスター展の審査員として招聘。著書に「Chinese Posters(中国ポスター)」、(朝日新聞出版)、「イラストレーションスタディーズ」(玄光社)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡
<http://apm-nagaoka.com/>



Student Conference 2015
 Tama Art University Illustration Studies 2015.07.18 (sat) 15:00-4:00 Tama Art University Lecture Hall C
 多摩美術大学イラストレーションスタディーズ・学生コンファレンス2015「なぜコンクールに応募するのか?」

[Title] ----- About Poster Competitions, Student Conference 2015
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] --- Offset printing
 [Date] ----- 2015
 [Client] ----- 多摩美術大学イラストレーションスタディーズ
 [Category] --- 教育
 [Idea] ----- 広い芝生に表彰台を描き「コンクールとは何か」というメッセージをデザインした。勝ち負けには、涙を浮かべることもある。



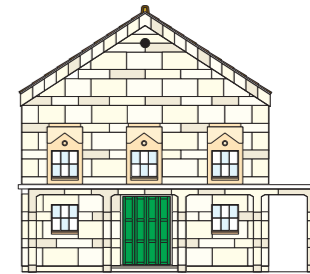
秋山孝ポスター美術館長岡 現在、冬期休館中です。
 春4月16日(土)より、「宮内・摂田屋百景展2」が始まります。
 Tel. Fax : 0258-39-1233 E-mail : info@apm-nagaoka.com

CLOSE

多摩美術大学グラフィックデザイン学科イラストレーションスタディーズ「学生コンファレンス」は、17回目を迎えた。問題点を浮かび上げさせ、概念を変えていく力になることを目的としている。今回は「なぜコンクールに応募するのか?」をテーマとした。これらの根本的考えを導きだすために、会議を開いた。そこには「なぜ応募するのか」「あなたにとってコンクールとは何か」「あなたにとって創作とは何か」まで踏み込み議論した。その告知ポスターは、広い芝生に表彰台を描き「コンクールとは何か」というメッセージをデザインした。競争では勝ち負けによる序列ができ、参加者は自分の結果に満足もあるが、涙を浮かべることもある。



学生コンファレンス「なぜコンクールに応募するのか?」
 (上) 会議風景、(下) 討論会での大学院生質疑応答



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
 TEL 0258-39-1233

Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

秋山孝長岡コレクション 165

長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展
<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



秋山 孝 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長
 1952年長岡市生まれ。多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。2009年「秋山孝ポスター美術館長岡」、2013年「秋山孝ポスター美術館長岡・蔵」が完成。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE-HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞。他、多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランド、他で国際ポスター展の審査員として招聘。著書に「Chinese Posters(中国ポスター)」、(朝日新聞出版)、「イラストレーションスタディーズ」(玄光社)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡
<http://apm-nagaoka.com/>



13. Message Illustration Poster 2015
 Tama Art University Illustration Studies
 2015.09.05 (sat) 10:00-19:00

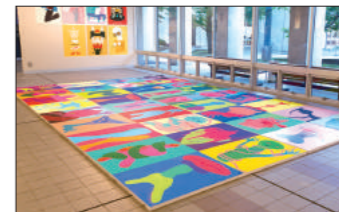
[Title] ----- 13. Message Illustration Poster 2015
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] --- Offset printing
 [Date] ----- 2015
 [Client] ----- 多摩美術大学イラストレーションスタディーズ
 [Category] --- 教育
 [Idea] ----- ポスターデザインは、87名の発想から生まれた作品の多様化されたアイデアをトリックを駆使し、シンボリックに表現した。



第22回企画展「宮内・摂田屋百景展2」
 4月16日(土)～6月27日(月) 秋山孝ポスター美術館長岡
 Tel. Fax : 0258-39-1233 E-mail : info@apm-nagaoka.com

OPEN

「第13回メッセージ・イラストレーション・ポスター展」は、2015年9月5日から17日まで多摩美術大学デザイン棟ギャラリーで開催された。この展覧会は、銀座にあるモンスーン・ラボ(王子製紙)で2000年からスタートし16年目を迎えた。今回は学部生、修士課程、博士課程、研究生87名が参加した。ポスターデザインは、87名の発想から生まれた作品の多様化されたアイデアをシンボリックに表現した。作者の向いている方向は千差万別で、東ねることが不可能だが、イラストレーションで描くと1つの展覧会として実現されている。そのトリックを駆使した。ぼくたちは絶えず新鮮で魅力的なイラストレーションを描こうと努力していることを表している。



第13回メッセージ・イラストレーション・ポスター展
 (上) 展示風景、(下) 集合写真

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2016-08-15

APM news 156

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館（旧北越銀行宮内支店）

第34回美術館大学

「秋山孝の神秘2『点と線』～形を失う形の活用の思考～」1

7月9日(土)pm3:00～pm4:30 / 受講者:65名 / 講師:秋山孝 / 進行:堀池真美



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233



秋山孝の表現の秘密を解き明かすシリーズ「秋山孝の神秘」展の第2回のテーマは「点と線」である。さらに今回は「形を失う形の活用の思考」というサブタイトルがついた。この言葉を読んだだけでは容易に理解できない秋山独自の思考を第34回美術館大学では秋山本人が解説した。

まず、今回のテーマは、日常私たちが何気なく使用している「点」と「線」というものの本質とは何か?と改めて意識するところからはじまる。古代ギリシャの哲学者プラトンは、自身が創設したアカデミーの入り口に「幾何学を知らざる者、ここに入るべからず」と刻んだほど、幾何学を重要視していた。同じく古代ギリシャの数学者ユークリッドはこれに従い、数学史上重要な著作の1つ「ユークリッドの原論」を執筆した。数学上では「点」とは、空間における正確な位置を定義するために使われる概念であり、大きさ、方向などの位置以外のあらゆる特徴を持たない。すなわち「部分」をもたないものであると定義した。また、「線」とは幅のない長さである。これらは、3次元の世界には存在しないものなのである。秋山の創作もこの基本原論を意識することから始まっている。

イタリヤ・ルネサンス期になると「透視図法」が発見された。それまで平面であった絵画に空間を表現するその技法は大発見であり一気に広まった。今でもデッサンの基礎として重要なものになっている。しかし、それは前出の「ユークリッドの原論」によれば矛盾だらけのものとなり、概念的な混乱をきたす。ここに平面上における空間の概念に支障をきたしていると秋山は着目している。実際、当時の透視図法で描かれた作品をみると、私たちは不自然さを感じる。自分の目を通して見ている世界とは明らかに何かが違うのである。私たち人間は2つの目で物事を認識している。左右の目の間には距離があり、差異が生じている。その差異を脳で調整して見ているのだ。透視図法で描く絵画は整っており、歪みや狂いが無い。すなわち面白みのない画面となる。かの有名なダヴィンチやミケランジェロも透視図法を用いているが、独自に調整をして、歪みを加え、魅力的な作品を造り上げている。

その後、「空気遠近法」が生み出された。光が大気に吸収され拡散したり反射する作用によって、遠くなるほど色が淡く青みがかったり、輪郭がぼやけたりする。その視覚的効果を活用して距離感を表現する技法である。何も描かれていない所に何を見るか。何が見えるか。そこには計り知れない奥行きが表現され、透視図法を越える大発見となった。

それから秋山はジョルジュ・スーラのデッサンをみたときの衝撃を語った。スーラはそれまでのデッサンの描き方や解剖学を全て否定した。消え入りそうな淡い炭の濃淡で描かれた彼のデッサンはなんと美しく、秋山はそれを見た瞬間自分が今まで学んできたデッサンでは敵わないと脱帽したという。そして、スーラは点描という描き方も発明した。ここで今回のサブタイトルである「形を失う形の活用の思考」に繋がる。スーラの作品を拡大して見ると無数の色の点（ここでは「ユークリッド原論」の概念とは違う一般的認識としての「点」）の集まりで描かれていることがわかる。ここに「形を失う形の活用」があると秋山は考えた。そして、それを「線解」「点解」と位置づけ、「字形」「字解」に類似する「形を失う」「形の活用」として研究を進め、研究対象は文字へと移る。【▶次号へつづく】(たかだみつみ・APM事務局長/APM公式ホームページより抜粋)

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka

2016-09-01

APM news 157

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館（旧北越銀行宮内支店）

第34回美術館大学

「秋山孝の神秘2『点と線』～形を失う形の活用の思考～」2

7月9日(土)pm3:00～pm4:30 / 受講者:65名 / 講師:秋山孝 / 進行:堀池真美



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233



元来文字というものは、古代人によって残された「殴り書き」のような痕跡から始まり、しだいに絵として認識され、具象的な形から抽象的な形へと変化しながら現在の形となった。文字は元々イラストレーションであったのだ。この事を理解することがとても重要であると秋山は語る。

また、コンピューターの発明により、人間の手では描けない数学的な「点」や「線」（ベジェ曲線、円、楕円）が出現した。それら幾何図形とは違う、脳と筋肉の指示によってできる形にはエネルギーがあり、それこそ人々の心に入り込む能力があると秋山は考えている。その他にも、「カニツアの三角形」や「エーレンシュタイン錯視」などの錯視効果も例にあげ、「形を失う形の活用」的思考を解説した。

これらのことを踏まえて改めて秋山の作品をみてみよう。まず、「越後百景・佐渡島」の作品。佐渡島の上空に描かれている天の川を拡大する。描かれた星の形はひとつとして同じ形は無い。もし、この形が全て幾何図形の円形で描かれていたらどうだろうか。きつこの作品の魅力は半減どころかまったく無くなってしまわないだろうか。また、作品「Bort-River（修了展2016）」では、線で描いているようにみえるが、これまた拡大して試みる。「ユークリッド原論」のつとると、黒の色面と黄土色の色面の境界こそが線であり、そこには複数のエレメントが存在しているのだ。そこに気がつき、意識するかどうかがとても重要なのである。これがまたベジェ曲線のような幾何図形的線であつたら、とても気持ち悪いと秋山は強く主張する。透視図法と同様の不快感を与える。それはなぜであろうか。数列的な図形や線は「平均値」で描かれているからであると秋山は結論づけた。

話は秋山の幸福論にまで及ぶ。絶対的幸福を求めるアランの幸福論を秋山は、辛い修行のようだと感じ、「幸福はほどほどで良い」という結論に辿り着いた。それはアランの幸福論から逃げているのではなく、むしろ自分の方が更に幸福であるということ深く考えるという、正に「形を失う形の活用」的思考であるという。

講演の中で何度も「素晴らしい」「美しい」という感情的な言葉が登場し、秋山の情熱をバシバシを感じる講演であった。進行役の堀池助手は、人々が当たり前捉えている物事に疑問を持ち、その根本になるものをまず理解しようとする秋山の情熱が魅力に繋がっているのだと感じたとまとめた。講演中、秋山は学生へ向けて、性能の良いルーペを買いなさいと論じた。何事にも真剣に向き合おうと、見えないものが見えてきて、そのものの本質や秘密が見えてくるといふ。秋山の神秘の根源は全てそこから始まっているのであろう。

講演の最後に「面」についてはどうなのかという質問が出た。実はそれは「秋山孝の神秘」シリーズの次回のテーマである。次回への期待を膨らましつつ、第34回美術館大学は幕と閉じた。(たかだみつみ・APM事務局長/APM公式ホームページより抜粋)

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka 2016-09-15
APM news 158

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館(旧北越銀行宮内支店)

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2016年4月号 vol.183

日本のイラストレーションポスター展 CALTEL ILUSTRADO EN JAPÓN



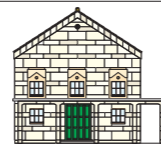
〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
 TEL 0258-39-1233

Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka
秋山孝長岡コレクション 166

長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展
<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



秋山 孝 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長
 1952年長岡市生まれ。多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。2009年「秋山孝ポスター美術館長岡」、2013年「秋山孝ポスター美術館長岡・蔵」が完成。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE-HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞。他、多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランド、他で国際ポスター展の審査員として招聘。著書に「Chinese Posters (中国ポスター)」、(朝日新聞出版)、「イラストレーションスタディーズ」(玄光社)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡
<http://apm-nagaoka.com/>

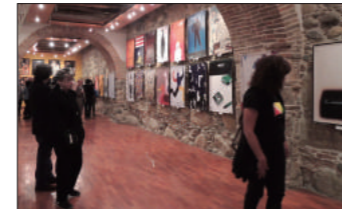


[Title] ----- 日本のイラストレーションポスター展
 CALTEL ILUSTRADO EN JAPÓN
 [Date] ----- 2015
 [Client] ----- ポリビア国際ポスタービエンナーレ2015実行委員会
 [Category] ----- 文化



第22回企画展「宮内・撰田屋百景展2」
 4月16日(土)～6月27日(月) 秋山孝ポスター美術館長岡
 Tel. Fax : 0258-39-1233 E-mail : info@apm-nagaoka.com

2015年11月18日から28日まで、秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) のポスターコレクションによる展覧会「日本のイラストレーションポスター展」をポリビア多民族国・ラバスのポリビア国際ポスタービエンナーレ2015 (BICeBé) において開催した。2015年4月にBICeBé主催者代表のスサナ・マチカオ氏から日本のポスター展開催の相談があった。そこで、APMが収蔵しているコレクションの中から50点を選び、企画展を開催することになった。BICeBé会期中は、国際ポスターコンペティション入選作品の展覧会をメインに関連企画展が街中で行われた。また、ラバス市内のホールで各国のクリエイターや美術館の代表者たちによる講演会が開催された。



日本のイラストレーションポスター展
 (上) レセプション風景、(下) 会場風景

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka 2016-10-01
APM news 159

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館(旧北越銀行宮内支店)

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2016年5月号 vol.184

地震津波-Earthquake Japan



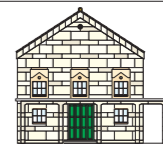
〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
 TEL 0258-39-1233

Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka
秋山孝長岡コレクション 167

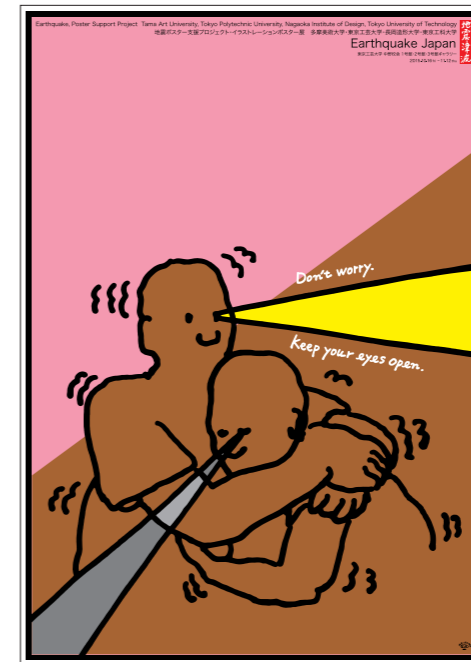
長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展
<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



秋山 孝 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長
 1952年長岡市生まれ。多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。2009年「秋山孝ポスター美術館長岡」、2013年「秋山孝ポスター美術館長岡・蔵」が完成。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE-HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞。他、多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランド、他で国際ポスター展の審査員として招聘。著書に「Chinese Posters (中国ポスター)」、(朝日新聞出版)、「イラストレーションスタディーズ」(玄光社)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡
<http://apm-nagaoka.com/>



[Title] ----- 地震津波 - Earthquake Japan
 [Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
 [Technique] ----- Offset printing
 [Date] ----- 2015
 [Client] ----- 地震ポスター支援プロジェクト
 [Category] ----- 社会、教育
 [Idea] ----- 「Don't worry.」「Keep your eyes open.」 絶えず安全は、私たちの心の中にある。



日本ブックデザイン賞2016 作品募集!
 応募期間: 2016年5月11日(水)～5月18日(水)必着
 URL: www.apm-nagaoka.com/bookdesign/

「地震ポスター支援プロジェクト・イラストレーションポスター展」は、多摩美術大学、東京工芸大学、長岡造形大学、東京工科大学による共同プロジェクトである。今年で12年目となった。展示会場は、今年も東京工芸大学、中野校舎ギャラリーで約170点のポスター作品を展示した。このプロジェクトは、「継続の価値」という重要な知識と知恵をもとに展覧会を続けている。今回のポスターデザインは、「Don't worry.」「Keep your eyes open.」と地震の恐怖を冷静にそして、落ち着いて判断することを促すメッセージにした。絶えず安全は、私たちの心の中にある。それを視線の動きで現した。おびえているが決して慌ててはいない。



地震ポスター支援プロジェクト・イラストレーションポスター展
 (上) 特別講義風景、(下) 合同講評会風景

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka 2016-10-15

APM news 160

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)

第35回美術館大学

「フランク・ロイド・ライトが残した建築工房タリアセンについて」

8月4日(木)pm4:00~pm4:30 / 受講者:82名 / 講師:半田雅俊、高田清太郎、秋山孝



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233



フランク・ロイド・ライト(1867-1959)は、近代建築の三大巨匠とも呼ばれるアメリカの建築家である。ライトが設計し弟子たちとともに建設した建築工房および共同生活のための建築群のことを「タリアセン」と名づけた。今回の美術館大学ではこのタリアセンで学んだ経験のある建築家、半田雅俊氏から話を伺い、高田清太郎氏、秋山孝館長を交えて鼎談した。

半田氏はまずライトの半生を語った。1867年に生まれたライトは91歳で没するまで激動の時代を生きた。それは馬車から飛行機まで乗り物が変化した技術革新の時代である。3回の結婚を経験し、その中にはスキヤングラスな恋愛もあったため40~60代の働き盛りの時期には仕事がなかった。そんな中、お婆の土地を相続したライトが65歳で始めた一種の事務所兼建築塾がタリアセンである。

半田氏がタリアセンで学んだことの中に「実感を大切にすること」がある。素材に触れることで、その素材の手触り、温かさ、硬さなどを知り、理解することである。タリアセンの学生には家がない。テントが支給され、敷地内に自分でテントを張り、そこで居住する。食事は食堂、トイレ・シャワーは施設内にあるのでそこを利用する。夜間の移動はランプを持って。そうした生活を送ることで学生たちは、寒暖、雨の降り方、日照時間など、環境を知る。人間は冷暖房の利いた室内にいるが、建物は外の環境にさらされている。建物が日々さらされているストレスを自らも実感、体験する。「環境を体験する」「自然から学ぶ」こともタリアセンで学んだことである。室内で作業をしているとスタッフから「こんな天気の良い日に中にいるな、外へ行け」とよく言われたと半田氏は懐かしそうに語った。

最後の質疑応答の時間には多くの質問が寄せられた。中でもライトの人物がわかるような逸話をという要望に対し、半田氏が語った話が興味深い。半田氏はアメリカに渡ってライトが各地に残した建物を見て回った。その中には既に観光施設のようにになっているものもあれば、誰かが住み続けているものもあった。そこで感じたのは、ライトの建物は誰かが住み、生活感のある空間の方が優れているということであった。通常我々が建物を公開するとき、そこに生活感は排除して公開する。その方が美しく見えるからである。しかしライトの建物は生活感があって完成するような魅力があったという。秋山館長は、住む人のことや建物のことを考え続けた創作者の情熱の力がそこにあると述べた。

また、この日は秋山館長から喜ばしい報告があった。秋山孝ポスター美術館長岡(APM)が正式に有形文化財に登録されたことである。ライトの建物のように、今後もAPMが長く愛される存在でありたいと思う。(森山奈帆・APM職員/APM公式ホームページより抜粋)

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka 2016-11-02

APM news 161

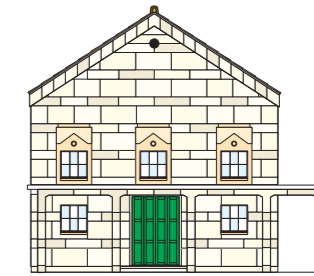
秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)

日本ブックデザイン賞2016

作品展示および授賞式

展示期間:9月4日(日)~9月24日(土)
授賞式:9月10日(土)pm2:30~pm5:00 / 参加者:99名



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233



今年も「日本ブックデザイン賞(JBD)2016」を開催した。応募総数625点の内、厳選なる審査の結果決定した入賞・入選作品全265点を秋山孝ポスター美術館長岡(APM)に於いて展示した。展示期間中の9月10日(土)には、同会場にて授賞式も執り行った。今年は、出版社などから既に商業出版している本も応募対象に加えたことにより、展示内容が濃くなり、見応えのある展示となった。

授賞式では、まずAPM館長・審査委員長の秋山孝が開催主旨及び関係者への感謝を述べた。また、APMの建物が国の登録有形文化財に登録されたことを報告し、国から贈られたプレートを披露した。続いて、APM運営委員会会長・審査員の豊口協が挨拶をし、かつて戦災孤児収容所で母親の形見である本を大事に抱える少女との出会いの話から、本は人生の指針を与えるものであり、ブックデザインも然りであると語った。祝辞は、長岡市副市長・高見真二氏から、長岡市としてもこの活動を支援していきたいという心強いお言葉を頂戴した。また、今年も協賛いただいた北越紀州製紙株式会社長岡工場長 谷口喜三雄氏からもご挨拶いただき、他にも多くの来賓、審査員、受賞者に出席いただいた。

賞状授与では、副賞として受賞者全員に作品集と長岡市発祥の米菓「元祖 柿の種」(浪花屋製菓)を贈与した。また、グランプリには賞金20万円が贈られ、受賞者はそれぞれ喜びを語った。一般の部 ブックデザイン・パブリッシング部門 銀の本賞を受賞した加藤勝也氏は、現在の日本ではブックデザインのコンペティションは数が少なく、地味な仕事ではあるが、このように評価される場がある事はとても嬉しいと語った。

式典の後は、懇親会を開き参加者間の交流を図った。長岡造形大学理事長 水流潤太郎氏は本には記憶を染みつかせる力があり、それはデザインの力でもあるという言葉で応募者へ激励の言葉を贈った。また、出席いただいた3名の審査員からは審査会の白熱した様子が語られ、厳しい審査の上選ばれた受賞者へ賛辞が述べられた。APM運営委員会副会長 牧野忠昌の乾杯の音頭で歓談はスタートし、地酒を片手に、参加者同士の交流は進んだ。

来賓の挨拶の中で度々登場したフレーズが「紙の本の持つ力」であった。近年では、電子書籍が登場し、「本」の形が多様化してきた。しかし、紙に印刷され製本した形こそ本の本来の姿であり、電子媒体には代え難い魅力と力を持っている。そして、そこには常にデザインが伴う。これからはJBDでは、本の持つ力・デザインの持つ力を発信し続け、新たな才能の発掘を目指していきたい。(たかだみつみ・APM事務局長)

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka 2016-11-16

APM news 162

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)

第36回美術館大学

「日本ブックデザイン賞2016について」

10月8日(土)pm3:00~pm4:30 / 受講者:60名 / 講師:秋山孝、御法川哲郎、高橋庸平



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233



日本ブックデザイン賞(JBD)2016は、昨年に引き続き2回目の開催となる秋山孝ポスター美術館長岡(APM)主催のコンペティションである。全国から作品を公募し、今年は625点の応募作品が集まった。第36回美術館大学では、審査委員長の秋山孝、入選者兼スタッフの御法川哲郎、受賞者の高橋庸平氏の3名でJBD2016について鼎談を行った。

御法川は出品者と運営側、2つの立場からJBDの魅力や魅力を次のように語った。ブックジャケット部門には課題図書が設定されており、出品者はその課題図書に沿った内容のジャケットを制作するが、同じ図書を選択してもその表現は様々である。自分の作品と他者の作品を比較し、その違いを認識することはより深い理解につながる。また、運営に携わることで教育機関からの大口の応募の多く、JBDはビジュアルコミュニケーションの学習に有効であることに気づいた。大学という枠を超え、全国から集まった作品同士が競うコンペの場合は意義があると述べた。

ブックジャケット文庫判部門で金の本賞を受賞した高橋氏は、現在大学院でポスターを専攻している。高橋氏はポスターを専攻する自分がブックジャケットのコンペに出品することに不安を感じていたという。それを解消してくれたのがチェコの画家ヨゼフ・チャペックの著書『本の表紙の作り方』の一節である。「本の表紙はポスターのようであるべきだ」。その言葉で考え方が変わり、ポスターのように表現したという。その高橋氏が語ったJBDの魅力とは、「ポスター美術館が主催するブックデザインのコンペ」だということ。秋山館長はそれを聞き、美の表現であるポスターと、知を詰め込んだ本とは、印刷物という共通項もあり、響きあう関係にあると語った。

質疑応答では、鼎談中に出てきた課題図書という問いかけに対して制作した作品を「解答」と表現したことについて議論が交わされた。果たして「解答」という言葉は正しいのか、また、図書を読まずに描かれた作品は「解答」といえるのかについて問われた。御法川は、解答という言葉だと予め正解が用意されているように感じられるので、この場合は解釈と言った方が相応しいと答えた。高橋氏は、作品を制作する上で図書を読むだけでなくその背景までも研究することの重要性を訴えた。「マッチ売りの少女」の作者アンデルセンの時代、マッチは箱入りでなく紐で束ねられていた。そうした時代背景を調査することは重要であると述べた。質問者は、背景を知れば課題図書への理解が深まり、応募作品に反映することに納得した様子だった。

最後に、秋山は本の今後について言及した。昨今電子書籍が登場し、紙の本の未来が危ぶまれているが、「残るべきものは残る」というのが秋山の考えである。紙の本と電子書籍の両方が住み分けをしながら残っていく。JBDは、今後も開催を重ねながら、趣旨に賛同し共鳴する人々を増やしていきたいと語った。(森山奈帆・APM職員)

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka 2016-12-01

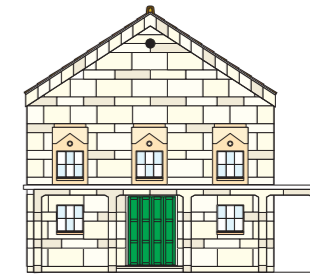
APM news 163

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2016年6月号 vol.185

Sonia Delauney 130



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

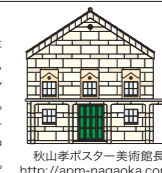
Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

秋山孝長岡コレクション 168

長岡出身の秋山氏が自伝を語る・マイスキップ誌上展
<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



秋山 孝 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長
1952年長岡市生まれ。多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。2009年「秋山孝ポスター美術館長岡」、2013年「秋山孝ポスター美術館長岡・蔵」が完成。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE+HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞。他、多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランド、他で国際ポスター展の審査員として招聘。著書に「Chinese Posters (中国ポスター)」、「朝日新聞出版」、「イラストレーションスタディーズ」(玄光社)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡
<http://apm-nagaoka.com/>



ウクライナのThe 4th Blockグラフィックデザイナー協会からソニア・ドロネー生誕130周年展のポスターデザインの依頼を受けた。2015年11月14日から世界各国で展覧会が開催された。ソニア・ドロネーはウクライナ(当時ロシア国)出身で、絵画、応用美術、デザイナー活動など、実に様々な活動をした女性芸術家である。夫のロベール・ドロネーは、アールデコの時代を代表する20世紀前半に活動したフランスの画家で、抽象絵画の先駆者の一人として知られる。ポスターデザインは、ソニアの長方形と半円形態をモチーフとしてアールデコ様式のヘアスタイルをしたポートレートを描き、抽象デザインの美しさに重なり合うよう表現した。

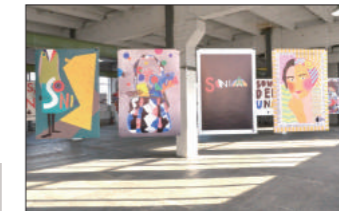
[Title] ----- Sonia Delauney 130
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] --- Offset printing
[Date] ----- 2015
[Client] ----- Association of Graphic Designers
"The 4th Block"
[Category] --- 文化
[Idea] ----- ソニアのアールデコ様式を用い、抽象デザインの美しさに重なり合うよう表現した。



第22回企画展「宮内・摂田屋百景展2」

4月16日(土)~6月27日(月) 秋山孝ポスター美術館長岡
Tel. Fax : 0258-39-1233 E-mail : info@apm-nagaoka.com

OPEN



ポスター展覧会 "Sonia Delauney 130"
2016年2月25~3月13日 / ギャラリーIZOLYATSIA (ウクライナ)

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka 2016-12-20

APM news 164

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2016年7月号 vol.186

宮内・摂田屋百景展2「宮内駅」



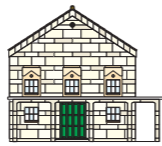
〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka
秋山孝長岡コレクション 169

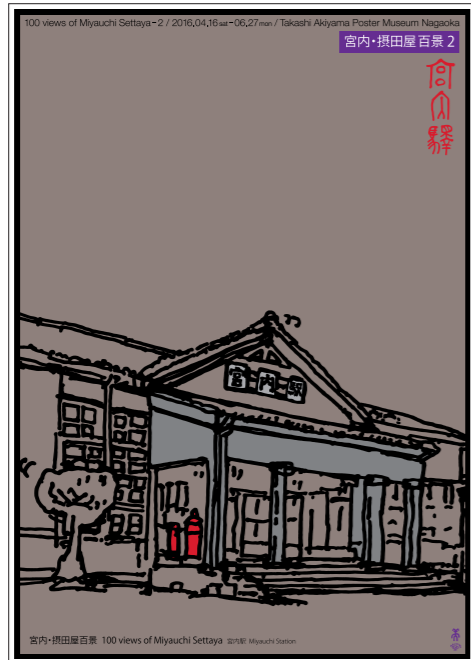
長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展
<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



秋山 孝 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長
1952年長岡市生まれ。多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。2009年「秋山孝ポスター美術館長岡」、2013年「秋山孝ポスター美術館長岡・蔵」が完成。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE-HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞。他、多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランド、他で国際ポスター展の審査員として招聘。著書に「Chinese Posters (中国ポスター)」、(朝日新聞出版)、「イラストレーションスタディーズ」(玄光社)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡
<http://apm-nagaoka.com/>



国の登録有形文化財や歴史的建造物のある宮内、摂田屋は雪の降る前は鈍色(にびいる)の空になる。それはとても憂鬱な日々だが、そのおかげで豊かな自然の恵みがもたらされる。そして美しい自然とともに、その街の独自性が現れ出る。それを発見するポスター展だ。描かれている宮内駅は現在の駅ではない。1947年(S.22)駅舎改築時の駅である。信越本線を所属線とし、宮内駅を終点とする上越線を加えた2路線が乗り入れている。1898年(M.31)12月27日、北越鉄道の信越本線・北条駅 - 長岡駅間が新設開業しスタートした。1987年(S.62)4月1日、国鉄分割民営化によりJR東日本の駅となり、1992年(H.4)現駅舎が完成した。



[Title] ----- 宮内・摂田屋百景 展2「宮内駅」
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] --- Offset printing
[Date] ----- 2016
[Client] ----- 秋山孝ポスター美術館長岡 (APM)
[Category] --- 文化
[Idea] ----- 国の登録有形文化財や歴史的建造物のある宮内、摂田屋は雪の降る前は鈍色(にびいる)の空になる。それはとても憂鬱な日々だ。

第23回企画展 秋山孝ポスター展8
秋山孝の神秘2「点と線」展
7月9日(土)～9月24日(土) 秋山孝ポスター美術館長岡
Tel, Fax: 0258-39-1233 E-mail: info@apm-nagaoka.com



宮内・摂田屋百景展2 / (上) 第32回美術館大学風景 / (左から) 大町誠介、秋山孝、平山育男、(下) 集合写真

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka 2017-01-04

APM news 165

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)

新作ポスター解説 秋山孝長岡コレクション 「マイ・スキップ」連載記事 2016年8月号 vol.187

「People - Love」多摩美術大学大学院グラフィックデザイン領域 イラストレーションスタディーズ修了制作展



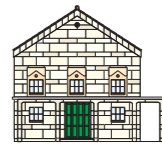
〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka
秋山孝長岡コレクション 170

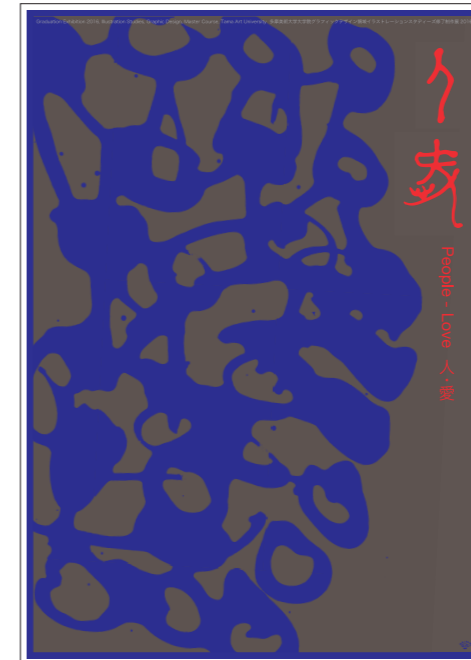
長岡出身の秋山氏が自作を語る・マイスキップ誌上展
<http://www.tamabi.ac.jp/gurafu/akiyama/>



秋山 孝 多摩美術大学教授・秋山孝ポスター美術館長岡/館長
1952年長岡市生まれ。多摩美術大学卒業。東京藝術大学大学院修了。2009年「秋山孝ポスター美術館長岡」、2013年「秋山孝ポスター美術館長岡・蔵」が完成。1986年、自然保護ポスター「WILD LIFE-HELP」でワルシャワ国際ポスタービエンナーレ・金賞を受賞し、1998年、インド核実験反対のポスターで国連賞を受賞。他、多数受賞。フィンランド、メキシコ、イタリア、ウクライナ、中国、アメリカ、ポーランド、他で国際ポスター展の審査員として招聘。著書に「Chinese Posters (中国ポスター)」、(朝日新聞出版)、「イラストレーションスタディーズ」(玄光社)他多数。



秋山孝ポスター美術館長岡
<http://apm-nagaoka.com/>



多摩美術大学大学院イラストレーション研究グループは、2004年から「イラストレーションスタディーズ修了制作展」を13年間継続的に開催している。2011年より南青山にあるGallery5610が会場となっている。この発表はイラストレーション世界における各専門的な切り口で、表現と研究を追及した成果である。この成果は今後、将来に向けての各自の指針となりうる。ポスターデザインは2点シリーズだ。タイトルは「人・愛」。書体は殷の時代に生まれた象形文字(甲骨・金文)を扱っている。表現するにあたって根源的なテーマにした。文字は絵から生まれ、簡略され記号化したものだ。

[Title] ----- 「People - Love」多摩美術大学大学院グラフィックデザイン領域イラストレーションスタディーズ修了制作展
[Size] ----- 1030 x 728 mm (B1)
[Technique] --- Offset printing
[Date] ----- 2016
[Client] ----- 多摩美術大学イラストレーションスタディーズ
[Category] --- 教育
[Idea] ----- 殷の時代に生まれた象形文字(甲骨・金文)を扱い根源的だ。

第23回企画展 秋山孝ポスター展8
秋山孝の神秘2「点と線」展
7月9日(土)～9月24日(土) 秋山孝ポスター美術館長岡
Tel, Fax: 0258-39-1233 E-mail: info@apm-nagaoka.com



多摩美術大学大学院イラストレーションスタディーズ修了制作展2016
(上) トークショー、(下) 集合写真

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka 2017-01-18

APM news 166

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館（旧北越銀行宮内支店）



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

第39回課外授業 上組小学校6学年 第2回小学生美術館大学

才能で生きる一人旅

11月24日(木)am11:00~pm0:00
参加者:78名/講師:秋山孝



秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) は、長岡市立上組小学校 (上組小) の校区内にある。APMの活動目的にある「教育」「地域貢献」の下、開館当初から様々な連携授業を行ってきた。6学年の「総合的な学習の時間」もその一つだ。今年度の教員が掲げた学習テーマは「つながろう〜アートを通して広がる世界〜」だ。その中でAPMでは、5月と8月に展示鑑賞学習を行い、10月にはAPMコレクション「宮内・榎田屋百景」から生徒が選んだ10点を貸し出し、上組小学校内で展覧会を開催した。そして、11月24日に6学年全員がAPMに来館し、授業を行った。この授業は、「地域の人や表現活動をする人との触れ合いを通して自身の生き方を考えようとする態度を育てる」ことを目標としており、その触れ合う人の一人にAPM館長・秋山孝が選ばれた。

秋山は、自身の人生を「才能で生きる一人旅」と表現し、彼らに優しく語りかけた。人は一人では生きていけない。多くの人の中に「自分」が存在するのだ。その中で、他者とは違うもしくは他者よりも得意な事を1つ持つ事が重要であり、それが才能になると強く語った。才能とは、生まれ持って備わった特別な能力であると捉えられがちであるが、秋山の考えはそうではない。自分が興味を持ったものや好きな事を突き詰める事で、他者よりもその分野に長け、それが才能になるという考え方のだ。秋山は幼少期から好きな鳥の話などを例に挙げながら、その事を生徒へ語りかけた。話のまとめとして、秋山が生徒達へ送ったメッセージは「好きな事を見つけ、やり続けよ」であった。「見つける」という部分を「決める」という言葉に置き換えても良い。好きだと決めた事を好きだと言いつつ、やり続ける事で、周りもそれを認識し、おのずと道が開けるといふ。好きな事であっても、時には辛さや悲しさなどの障害が発生する。それでも続けなければならない。だが、「好き」という強い気持ちがあれば、乗り越える事ができるのだと秋山は語った。

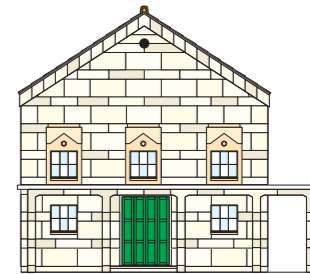
この講演中、メモを取る為の時間を3回設けた。秋山が語る間は話に集中し、心に残った言葉を3つその時間に書き留めた。これから彼らは何を自身の才能と決め、進んでいくのだろうか。その道には大きな壁が立ちはだかる時もあるであろう。そんな時、今回持ち帰った3つの言葉を思い出してほしい。(たかだみつみ・APM事務局長、学芸員)

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka 2017-03-01

APM news 167

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館（旧北越銀行宮内支店）



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
TEL 0258-39-1233

長岡造形大学 地域協創演習 in APM

「すずめ隊」2016年度活動報告

履修者:長岡造形大学生23名
指導:御法川哲郎、たかだみつみ



今年度も秋山孝ポスター美術館長岡 (APM) と長岡造形大学 (造形大) との連携授業「地域協創演習 すずめ隊」を行った。昨年度を大きく上回る23名の学生が履修した。地域協創演習とは、地域社会及び企業と、学生・教員が力を合わせた知的価値、地域価値、企業価値を創造することを目標に掲げている造形大独自のカリキュラムだ。APMにおける地域協創演習は、学生チーム「すずめ隊」として、年間を通してAPMの活動をサポートする。APMの活動に参加・実践することで、美術館の本質を学ぶことを目的としている。

今年度の「すずめ隊」は、まず第22回企画展「宮内・榎田屋百景展2」に出品することから始まった。展示までに制作が完了していた3年生5名の作品のみの出品となった。プロの作品と共に自分の作品が美術館に展示されることは貴重な経験となり、そこから得たものも大きかったのではないだろうか。年度末の1月には、4月の展示の際に作品が完成していなかった18名を含め、23名全員の「宮内・榎田屋百景」ポスターを造形大学内にて展示発表した。表現技法にはまだ未熟さはあるが、学生ならではの視点で地域の魅力を見つけ出し、作品に昇華させた。取り上げる場所はバラエティに富み、APMスタッフも知らない新たな発見を提供してくれた。

その他にも例年通り、美術館大学、ワークショップ、日本ブックデザイン賞2016授賞式など、APMの活動を1年を通してサポートした。美術館大学を聴講するだけでなく、社会との関わりの中での実践的な体験の上で、彼らが学び得たものは多いのではないだろうか。今年度は、履修人数が多いこともあり、懇親会などの場で、多摩美術大学生やその卒業生とのコミュニケーションが盛んに行われた印象を受けた。置かれた環境や経験値の違う人と接し、刺激を受けたこの経験が、今後の彼らの表現活動や人生の助力となることを願う。

「すずめ隊」はAPMにとって重要な存在となりつつある。私たちは、入隊した学生は1年限りの関係ではなく、ずっと「すずめ隊」の一員であると考えている。彼らが大学を卒業した後も、APMや隊員同士の関係が繋がりが続け、強力なサポートチームになっていくことが理想である。(たかだみつみ・APM事務局長、学芸員)

2016年度地域協創演習「すずめ隊」履修者 23名

3年生 阿部匡平、池田陽平、酒井星風、佐藤陽香、佐藤衛、関萌花、福島明、渡部李穂

2年生 小山美紀、齋藤知美、池田茉莉、石月奈央、今井みゆき、大谷真優、大森萌、岡崎芽生、金井憲、椋澤七海、嵯峨雄介、佐藤さき、土田瀬介、角田千祐、吉田壮太

Takashi AKIYAMA Poster Museum Nagaoka 2017-03-24
APM news 168

秋山孝ポスター美術館 長岡

歴史的建造物・金庫扉と雁木のある美術館 (旧北越銀行宮内支店)



〒940-1106 新潟県長岡市宮内2-10-8
 TEL 0258-39-1233

第41回APM課外授業 長岡市立上組小学校・APM連携展覧会
「わたしたちのすむまち〜スマイル百景〜」 入館者数: 85名



秋山孝ポスター美術館長岡(APM)は、長岡市立上組小学校(上組小)の校区内にある。上組小との連携した活動はAPMが開館した2009年より継続しており、今回の展覧会で24回目となる。活動内容は展示、講演、鑑賞、作品貸出等、多岐に渡る。また、秋山孝(APM館長、上組小卒業)個人との関係はAPM開館前の2000年にさかのぼる。「上組こども美術館・秋山孝と子どもたち展」(2000年)、「美術とデザイン(講演)」(2000年)、「上組小学校課外授業・学校は美術館(講演)」(2001年)を行ってきた。

今回の展覧会は「わたしたちのすむまち〜スマイル百景〜」と題し、6年生74名が描いた絵を展示した。6年生はこの1年間、「総合的な学習の時間」において自分たちの住む地域と関わり、触れ合い、様々なことを学んできたことだろう。その上で地域を描いた作品を、地域の美術館であるAPMに展示し、地域への感謝の気持ちを伝えることを目的とした。

当日は家族や友人と共に6年生自身も来館者としてAPMを訪れた。改めて自分の作品を見つめ、家族に解説したり、友人の作品と比較するなどして美術館でのひとときを過ごした。今回展示した作品は、10月に一度上組小の芸術祭で展示されている。しかしAPMでの展示は、美術館に展示する美術品と同等に扱う点が異なる。6年生の絵画は1点ずつ手袋をして扱い、額に入れ、会場に設置した。秋山は美術館の役割について次のように述べている。「校内ではなく町の中に独立した美術館に作品を展示することで、生徒たちは自分の作品を客観的に凝視することになります。それは改めて作品を鑑賞する美術館という場だからです。そして鑑賞者の目にも晒され、自分の作品に対する自己批判が生まれます。それは自己認識、自主性、自立に繋がります。また美術館で同級生の作品を鑑賞することで、他者との比較をし、どういふメッセージが込められているのかを考えます。それにより作品を読む力が育ち、作品についての理解を深めることになります。想像力はこのようにして生まれ、厳しさと深い思考力とともに次の創作へと向かうのです。実に豊かな人間性と柔軟な心を作り上げます。これが美術館の役割です。」

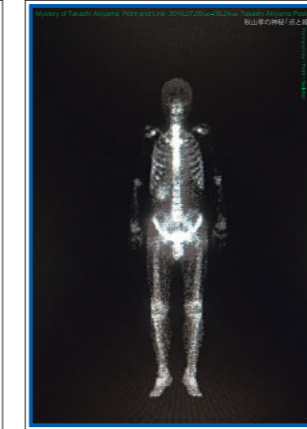
2016年度は4月のAPM見学を始めとし、10月の上組小第38回こども美術館企画展「宮内・榎田屋百景展」、11月の第2回小学生美術館大学「才能に生きる一人旅」、そして今回の連携展覧会と、上組小6学年と4回の活動を行なった。特に第2回小学生美術館大学は、「才能」をテーマとした講演であり、秋山が6年生と直接触れ合うことのできた数少ない機会であった。秋山の話が卒業を控えた6年生に与えた影響は大きかったようで、担当教諭から卒業文集に秋山の才能の話を書いた生徒がいたと伺った。APMは今後も地域の美術教育に貢献していくため、地域の教育機関との連携を大切に考えていきたい。(森山奈帆・APM職員)

【2016年度 APM企画展、特別展】

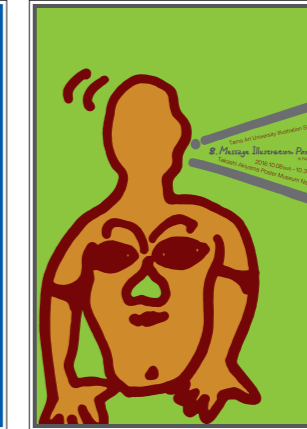
第22回企画展
「宮内・榎田屋百景展2」
 会期: 4月16日(土)~6月27日(月)



第23回企画展
秋山孝ポスター展8
「秋山孝の神秘2『点と線』展」
 会期: 7月9日(土)~9月24日(土)



第24回企画展
 多摩美術大学大学院イラストレーションスタディーズ
**「メッセージイラストレーション
 ポスター展8」**
 会期: 10月8日(土)~10月31日(月)



特別展
「日本ブックデザイン賞2016展」
 会期: 9月4日(日)~9月24日(土)
 授賞式: 9月10日(土)



【企画展】

開催年	会期	回数	タイトル
2009	7月12日(日)~10月9日(金)	第01回	秋山孝ポスター展
	10月12日(月)~10月31日(土)	第02回	多摩美術大学大学院イラストレーションスタディーズ「メッセージイラストレーションポスター展」
2010	4月16日(金)~6月30日(水)	第03回	秋山孝ポスターコレクション研究1「中国ポスター展」
	7月10日(土)~9月23日(木)	第04回	秋山孝ポスター展2
	10月3日(日)~10月31日(日)	第05回	多摩美術大学大学院イラストレーションスタディーズ「メッセージイラストレーションポスター展2」
2011	4月16日(土)~6月30日(木)	第06回	秋山孝ポスターコレクション研究2「Voices in Freedom 展」 in 長岡
	7月9日(土)~9月23日(金)	第07回	秋山孝ポスター展3
	10月1日(土)~10月31日(月)	第08回	多摩美術大学大学院イラストレーションスタディーズ「メッセージイラストレーションポスター展3」
2012	4月21日(土)~6月24日(日)	第09回	秋山孝ポスターコレクション研究3「ノー・モア・フクシマ」
	7月7日(土)~9月23日(日)	第10回	「越後百景十選」秋山ポスター展4
	10月6日(土)~10月31日(水)	第11回	多摩美術大学大学院イラストレーションスタディーズ「メッセージイラストレーションポスター展4」
2013	4月20日(土)~5月25日(土)	第12回	秋山孝が選んだ高田清太郎の30の金言「高田清太郎の建築デザイン哲学」展
	6月1日(土)~6月29日(土)	第13回	秋山孝ポスターコレクション研究4「『ポーランドの巨匠 in 長岡』展」
	7月6日(土)~9月23日(月)	第14回	メッセージイラストレーションポスター 十四選「声なき声を聞く」秋山ポスター展5
	10月5日(土)~10月31日(木)	第15回	多摩美術大学大学院イラストレーションスタディーズ「メッセージイラストレーションポスター展5」
2014	4月19日(土)~6月30日(土)	第16回	宮内・榎田屋百景展
	7月13日(日)~9月22日(月)	第17回	秋山孝ポスター展6
	10月4日(土)~10月31日(金)	第18回	多摩美術大学大学院イラストレーションスタディーズ「メッセージイラストレーションポスター展6」
2015	4月18日(土)~6月29日(月)	第19回	「イラストレーション・ダイアログ」展 6年間の試み
	7月11日(土)~9月26日(土)	第20回	秋山孝の神秘「メタファー」展
	10月3日(土)~10月31日(土)	第21回	多摩美術大学大学院イラストレーションスタディーズ「メッセージイラストレーションポスター展7」
2016	4月16日(土)~6月27日(月)	第22回	宮内・榎田屋百景展2
	7月9日(土)~9月24日(土)	第23回	秋山孝の神秘2「点と線」展
	10月8日(土)~10月31日(月)	第24回	多摩美術大学大学院イラストレーションスタディーズ「メッセージイラストレーションポスター展8」

【特別展】

開催年	会期	回数	タイトル
2015	9月6日(日)~9月26日(土)	第01回	日本ブックデザイン賞2015展
2016	9月4日(日)~9月24日(土)	第02回	日本ブックデザイン賞2016展

[APM事業活動記録]

2009年度 (2009.4～2010.3)

- 7.11.sat / APM開館
- 7.12.sun-10.9.fri / 第1回企画展「秋山孝ポスター展」
- 7.12.sun / 第1回美術館大学「自作を語る」 / 講師:秋山孝
- 8.1.sat / 第2回美術館大学「理解者を求めて」 / 講師:秋山孝
- 9.4.fri / 第1回APM課外授業「見学 in APM」 / 新潟デザイン専門学校生
- 9.4.fri / 第3回美術館大学「建築構造の美1」 / 講師:斎藤公男、秋山孝 / 受講者:35名
- 10.12.mon-10.31.sat / 第2回企画展「メッセージイラストレーションポスター展」
- 10.12.mon / 第2回APM課外授業「メッセージイラストレーションポスター展 講評会」 / 多摩美大学院生・卒業生 / 講師:秋山孝 / 参加者:7名
- 10.13.tue / 第3回APM課外授業「APMとは」 / 美術館大学・特別講義 / 講師:秋山孝 / 参加者:17名
- 10.17.sat / 第4回美術館大学「プランニングと創作活動の情熱」 / 講師:牧野圭一、秋山孝 / 受講者:36名
- 12.18.fri, 21.mon / 第4回APM課外授業「あなたならどう読む?ポスターにこめられたメッセージ」 / 教職12年経験者研修 教科別研修3「図画工作」 / 上組小6年生 / 指導教諭:金澤健志
- 1.25.mon / 第3回長岡市都市景観賞「守る」部門受賞

2010年度 (2010.4～2011.3)

- 4.11.sun / 2010年度運営委員会、サポーターズ倶楽部役員会合同会議
- 4.16.fri-6.30.wed / 第3回企画展 秋山孝ポスターコレクション研究1「中国ポスター展」
- 5.1.sat / 第5回美術館大学「秋山孝 中国ポスターを語る」 / 講師:秋山孝 / 受講者:30名
- 7.10.sat-9.23.thu / 第4回企画展「秋山孝ポスター展2」
- 7.10.sat / 第6回美術館大学「秋山孝 自作を語る」 / 講師:秋山孝 / 受講者:65名
- 7.10.sat / APM1周年記念懇親会
- 7.21.wed / 第5回APM課外授業「町探検 in APM / 秋山孝ポスター展2」 / 上組小2年生 / 指導教諭:柳宏美 / 参加者:36名
- 8.2.mon / 第7回美術館大学「中越大地震と創造的復興+APMリノベーション」 / 講師:渡辺幸、高田清太郎、秋山孝 / 受講者:45名
- 8.19.tue / ホクゲン宮内支店90周年記念講演会「APMの魅力」 / 講師:秋山孝 / 受講者:45名
- 9.29.wed / 第6回APM課外授業「見学 in APM」 / 長岡市立石坂小学校 / 参加者:7名
- 10.2.sat / 第8回美術館大学「長岡市立上組小学校美術館大学 教育・美・感動」 / 講師:池上秀敏、金澤健志、水谷徹平、秋山孝 / 受講者:48名
- 10.3.sun-10.31.sun / 第5回企画展「メッセージイラストレーションポスター展2」
- 10.27.wed / 第7回APM課外授業「鑑賞授業 in APM」 / 上組小6年生 / 指導教諭:金澤健志 / 参加者:約90名
- 11.23.tue / ギター演奏会(崑山ギター教室「2010 ぎたあ ギター Guitar」) / 演奏・講師:崑山徳雄
- 12.8.wed / 第9回美術館大学「テンスグリックタワー」「100年の風・リブチの月」講師:秋山孝、「私にとっての構造デザイン」講師:斎藤公男 / 受講者:57名

2011年度 (2011.4～2012.3)

- 4.16.sat / 2011年度運営委員会、サポーターズ倶楽部役員会合同会議
- 4.16.sat-6.30.thu / 第6回企画展 秋山孝ポスターコレクション研究2「Voices in Freedom 展」 in 長岡
- 4.16.sat / 第10回美術館大学「メキシコのポスター世界」 / 講師:U.G.サトー、リング・リト、秋山孝 / 受講者:46名
- 6.22.wed / 1,000,000人のキャンドルナイト in APM / 企画:(株)高田建築事務所 / 参加者:50-60名
- 6.30.thu-7.10.sun / 博物館実習 in APM / 実習者:熊倉緑(造形大)、藤田みのり(造形大)
- 7.9.sat-9.23.fri / 第7回企画展「秋山孝ポスター展3」
- 7.9.sat / 第11回美術館大学「長岡の教育の歴史」 / 講師:稲川明雄、秋山孝 / 受講者:64名
- 7.9.sat / APM2周年記念懇親会 / 参加者:69名
- 7.13.wed / 第8回APM課外授業「町探検 in APM / 秋山孝ポスター展3」 / 上組小2年生 / 指導教諭:柳宏美 / 参加者:23名
- 8.3.wed / 第12回美術館大学「夢を抱いて明日に希望を!」 / 講師:豊口協、秋山孝 / 受講者:65名
- 8.5.fri / 第51回関東甲信静地区造形教育研究大会・新潟大会 美術館研修
- 8.24.wed / 日本建築学会大会・建築デザイン発表会「建築vsモノづくり」部門受賞
- 10.1.sat-10.31.mon / 第8回企画展「メッセージイラストレーションポスター展3」
- 10.1.sat / 第13回美術館大学「長岡のデザイン教育」 / 講師:木村保夫、秋山孝 / 受講者:43名
- 10.8.sat / 第9回APM課外授業「Myタワー」 / まちかど美術館2011 / 上組小6年生 / 会場:宮内商店街、APM / 企画:上組小 / 協力:(株)高田建築事務所、APM / 参加生徒:97名
- 10.26.wed / 第10回APM課外授業「メッセージポスターがどんなことを言っているか想像しよう、返事をしよう」 / 上組小3年生 / 指導教諭:金澤健志 / 参加者:約90名
- 11.23.wed / 崑山ギター教室・演奏会 / 講師・演奏:崑山徳雄
- 2.6.mon / キャンドルナイト in 宮内 / 会場:宮内商店街、APM / 企画:上組小6年生

2012年度 (2012.4～2013.3)

- 4.21.sat / 2012年度運営委員会、サポーターズ倶楽部役員会合同会議
- 4.21.sat-6.24.sun / 第9回企画展 秋山孝ポスターコレクション研究3「ノー・モア・フクシマ」



2009.7.11.sat / APM開館 テープカット



2009.7.12.sun-10.9.fri / 第1回企画展「秋山孝ポスター展」



2010.5.1.sat / 第5回美術館大学「秋山孝 中国ポスターを語る」



2010.8.2.mon / 第7回美術館大学「中越大地震と創造的復興+APMリノベーション」



2011.6.30.thu-7.10.sun / 博物館実習 in APM



2011.8.3.wed / 第12回美術館大学「夢を抱いて明日に希望を!」



2011.8.5.fri / 第51回関東甲信静地区造形教育研究大会・新潟大会 記念講演

- 4.21.sat / 第14回美術館大学「『ノー・モア・フクシマ』について」 / 講師:U.G.サトー、福田毅、高田清太郎、秋山孝 / 受講者:46名
- 5.18.fri / 第11回APM課外授業「原発ポスター講評会」 / 造形大・御法川研究室 / 参加者:10名
- 6.15.fri / 第12回APM課外授業「地震ポスター講評会1」 / 造形大・御法川研究室 / 参加者:10名
- 6.21.thu / 1,000,000人のキャンドルナイト in APM / 企画:(株)高田建築事務所 / 参加者:64名
- 6.24.sun-7.8.sun / 博物館実習 in APM / 実習者:阿部春花(造形大)、庭野真梨子(造形大)
- 7.7.sat / 第13回APM課外授業「地震ポスター講評会2」 / 造形大・御法川研究室 / 参加者:10名
- 7.7.sat-9.23.sun / 第10回企画展「越後百景十選」秋山孝ポスター展4
- 7.7.sat / 第15回美術館大学「『越後百景十選』について」 / 講師:河田博、秋山孝 / 受講者:72名
- 7.7.sat / APM3周年記念懇親会 / 参加者:68名
- 7.8.sun / 第14回APM課外授業「ポーランドポスターについて」 / 多摩美大学院生・卒業生 / 講師:秋山孝、御法川哲郎 / 参加者:26名
- 7.18.wed / 第15回APM課外授業「町探検 in APM / 『越後百景十選』秋山孝ポスター展4」 / 上組小2年生 / 指導教諭:関谷晴代 / 参加者:38名
- 8.3.fri / 第16回美術館大学「ワルシャワ国際ポスタービエンナーレについて」 / 講師:甲賀正彦、御法川哲郎、秋山孝 / 受講者:67名
- 10.6.sat-10.31.wed / 第11回企画展「メッセージイラストレーションポスター展4」
- 10.6.sat / 第17回美術館大学「新企画2013『高田清太郎の建築デザイン哲学』と『ポーランドポスターの巨匠展』について」 / 講師:高田清太郎、御法川哲郎、秋山孝 / 受講者:44名
- 10.6.sat / 第16回APM課外授業「なりたくない自分」 / まちかど美術館2012 / 上組小6年生 / 会場:宮内商店街、APM / 企画:上組小 / 協力:(株)高田建築事務所、APM / 参加生徒:76名
- 10.7.sun / 第17回APM課外授業「メッセージイラストレーションポスター展4について」 / 多摩美大学院生・卒業生 / 講師:秋山孝、御法川哲郎 / 参加者:24名
- 11.17.sat / 朝飯会・まちづくり講演会 / 講師:高田清太郎 / 参加者:13名
- 2.9.sat / 第18回APM課外授業 長岡市立上組小学校アートイベント「上組地域への感謝の会」 / 会場:宮内駅～宮内商店街、APM / 企画:上組小6年生 / 協力:(株)高田建築事務所、APM / 指導教諭:神谷典男 / 入館者:138名(上組小6年生含む)

2013年度 (2013.4～2014.3)

- 4.20.sat / 2013年度運営委員会、サポーターズ倶楽部役員会合同会議
- 4.20.sat-5.25.sat / 第12回企画展「秋山孝が選んだ高田清太郎の30の金言『高田清太郎の建築デザイン哲学』展」
- 4.20.sat / 第18回美術館大学「秋山孝が選んだ高田清太郎の30の金言『高田清太郎の建築デザイン哲学』について」 / 講師:高田清太郎、秋山孝 / 受講者:73名
- 5.1.wed / 「社聴熟」 / 株式会社 高田建築事務所 / 参加者:53名
- 5.2.thu / 第19回APM課外授業「つながろう ～アートを通して広がる世界・広がる生き方～」 / 上組小6年生 / 参加者:98名
- 6.1.sat-6.29.sat / 第13回企画展 秋山孝ポスターコレクション研究4「『ポーランドの巨匠 in 長岡』展」
- 6.1.sat / 第19回美術館大学「『ポーランドポスターの巨匠 in 長岡』について」 / 講師:御法川哲郎、秋山孝 / 受講者:68名
- 6.2.sun / 第20回APM課外授業「『ポーランドポスターの巨匠 in 長岡』について」 / 多摩美大学院生・卒業生 / 講師:秋山孝、御法川哲郎 / 参加者:28名
- 6.17.mon-6.21.fri, 7.1.mon-7.7.sun 計10日間 ※6.18.tue, 7.2.tue休館 / 長岡造形大学「博物館実習」 in APM / 実習者:海津紗弥香、杉山沙織、須佐葉月、鈴木智里、堀内まりえ
- 7.6.sat-9.23.mon / 第14回企画展「メッセージイラストレーションポスター十四選『声なき声を聞く』秋山孝ポスター展5」
- 7.6.sat / 第1回APMワークショップ「多色刷木版画でポストカードをつくらう!」 / 会場:APM蔵 / 講師:たかだみつみ / 参加者:20名(他見学者:5名)
- 7.6.sat / 第20回美術館大学「メッセージイラストレーションポスター十四選『声なき声を聞く』秋山孝ポスター展5について」 / 講師:秋山孝 / 受講者:60名
- 7.6.sat / APM4周年記念懇親会 / 参加者:51名
- 7.7.sun / 第21回APM課外授業「メッセージイラストレーションポスター十四選『声なき声を聞く』秋山孝ポスター展5について」 / 多摩美大学院生・卒業生 / 講師:秋山孝 / 参加者:28名
- 8.3.sat / 第21回美術館大学 第1部「秋山孝 自作を語る3」、第2部「我 斯く 建築に向かう」 / 講師:第1部 秋山孝、第2部 平山育男 / 受講者:63名
- 8.22.thu / 第2回APMワークショップ1「ステンシルでオリジナルうちわ作り」 / 会場:APM / 講師:たかだみつみ / 参加者:2名
- 8.24.sat-29.thu / 第2回APMワークショップ2「夏休みFinalワークショップ祭り」 / 会場:APM / 講師:たかだみつみ / 参加者:3名
- 9.11.wed / 第22回APM課外授業「町探検 in APM / メッセージイラストレーションポスター十四選『声なき声を聞く』秋山孝ポスター展5」 / 上組小2年生 / 指導教諭:笠井美美子 / 参加者:25名
- 10.5.sat-10.31.thu / 第15回企画展「メッセージイラストレーションポスター展5」
- 10.5.sat / 第3回APMワークショップ「機那サフラン 酒本舗製絵柄 蔵書票をつくる」 / 会場:APM、APM蔵 / 講師:たかだみつみ / 参加者:4名
- 10.5.sat / 第22回美術館大学「東京装画賞について」 / 講師:末房志野、御法川哲郎、秋山孝 / 受講者:51名
- 10.6.sun / 第23回APM課外授業「『メッセージイラストレーションポスター展5』講評会」 / 多摩美大学院生・卒業生 / 講師:秋山孝 / 参加者:26名
- 10.19.sat / 第4回APMワークショップ「APMハロウィーン仮装パーティー!!!」 / 会場:APM、APM蔵、宮内商店街 / 講師:たかだみつみ / 参加者:8名(他保護者6名)



2012.4.21.sat / 第14回美術館大学「『ノー・モア・フクシマ』について」



2012.6.24.sun-7.8.sun / 博物館実習 in APM



2012.8.3.fri / 第16回美術館大学「ワルシャワ国際ポスタービエンナーレについて」



2013.2.9.sat / 上組小学校アートイベント「上組地域への感謝の会」



2013.4.20.sat / 第18回美術館大学「『高田清太郎の建築デザイン哲学』について」



2013.6.1.sat / 第19回美術館大学「『ポーランドポスターの巨匠 in長岡』について」



2013.7.6.sat / 第1回APMワークショップ「多色刷木版画でポストカードをつくらう!」

- 10.25.fri-11.1.fri / 上組小 こだま美術館 第31回企画展「地域に感謝 未来に翔(は)ばたけ 秋山孝ポスター美術展」/ 会場:上組小 こだま美術館
- 10.25.fri / 第24回APM課外授業「小学生美術館大学」(上組小 こだま美術館 第31回企画展「地域に感謝 未来に翔(は)ばたけ 秋山孝ポスター美術展」関連企画) / 上組小6年生 / 講師:秋山孝 / 受講者:102名
- 12.15.sun / 第5回APMワークショップ「美術館をクリスマスデコレーション!」/ 会場:APM / 講師:たかだみつみ / 参加者:2名
- 2.22.sat / 第25回APM課外授業「ありがとうアート ～わたしのまち～」(上組小、APM連携展覧会) / 会場:APM / 企画:上組小6年生 / 協力:(株)高田建築事務所 / 指導教諭:黒井美智子 / 入館者:74名(上組小6年生含む)

2014年度 (2014.4～2015.3)

- 4.19.sat / 2014年度運営委員会、サポーターズ倶楽部役員会合同会議
- 4.19.sat-6.30.sat / 第16回企画展「宮内・榎田屋百景 展」
- 4.19.sat / 第23回美術館大学「『宮内・榎田屋百景』について1」 / 講師:御法川哲郎、大町駿介、たかだみつみ、秋山孝 / 受講者:63名
- 5.2.fri / 第26回APM課外授業「APM見学」/ 『宮内・榎田屋百景 展』 / 上組小6年生 / 参加者:103名
- 5.31.sat / 第6回APMワークショップ「小国和紙でつくるペーパーウェイト」 / 会場:APM蔵 / 講師:たかだみつみ / スタッフ:APMすずめ隊(長岡造形大学生)6名 / 参加者:18名
- 5.31.sat / 第24回美術館大学「『宮内・榎田屋百景』について2」 / 講師:高田清太郎、大町駿介、秋山孝 / 受講者:64名
- 6.1.sun / 第27回APM課外授業「多摩美術大学大学院生・卒業生」 / 講師:秋山孝、御法川哲郎 / 参加者:19名
- 6.6.wed-6.13.mon、7.2.wed-7.6.mon、7.12.sat-7.13.sun 計14日間 ※6.10.tue休館 / 長岡造形大学「博物館実習」in APM / 実習者:竹下夏生
- 7.12.sat / APM開館5周年記念式典・祝賀会
- 7.12.sat / APM蔵 特別公開「秋山孝 学生時代の習作展」 / 来場者:133名
- 7.13.sun-9.22.mon / 開館5周年記念 第17回企画展「秋山孝ポスター展6」
- 7.13.sun / 第28回APM課外授業「美術館とは」 / 多摩美術大学大学院生・卒業生、長岡造形大学生 / 講師:秋山孝 / 参加者:33名
- 8.2.sat-8.3.sun / APM蔵 特別公開「秋山孝 学生時代の習作展」 / 来場者:33名
- 8.5.tue / 第25回美術館大学「もりもり購読:2013年度日本建築学会北陸支部 文化賞2作品 (マルの杜とリブナの森)について」 / 講師:山下秀之、高田清太郎、秋山孝 / 受講者:93名
- 10.4.sat-10.31.fri / 第18回企画展「メッセージイラストレーションポスター展6」
- 10.4.sat / APM蔵 特別公開「秋山孝 学生時代の習作展」 / 来場者:43名
- 10.11.sat / 第26回美術館大学「プルノ国際グラフィックデザインビエンナーレについて」 / 講師:柏大輔、秋山孝 / 受講者:52名
- 10.12.sun / 第29回APM課外授業「理解とは何か」 / 多摩美術大学大学院生・卒業生 / 講師:秋山孝 / 参加者:29名
- 10.23.thu / 第1回一流美術館大学 / 会場:APM蔵 / 参加者:9名
- 10.24.fri / 富山市デザイン協議会「APM視察訪問」 / 会場:APM、APM蔵 / 富山市デザイン協議会 / 参加者:20名
- 10.25.sat / 第7回ワークショップ「おおかずオバケちゃんを作ろう!」 / 会場:APM蔵 / 講師:たかだみつみ / スタッフ:APMすずめ隊(長岡造形大学生)5名 / 参加者:26名
- 11.15.sat / 中越地区研修会訪問「APM活動について」 / 会場:APM蔵、APM / 参加者:13名
- 12.4.thu / 長岡造形大学 特別講義「地震ポスター支援プロジェクトについて」 / 講師:秋山孝、澤田雅浩、御法川哲郎 / 会場:長岡造形大学104教室 / 受講者:29名
- 12.4.thu / 第2回一流美術館大学 / ゲスト:椿智彦、澤田雅浩 / 会場:APM蔵 / 参加者:20名
- 1.6.tue-1.30.fri / 北越銀行本展営業部ロビー展示「APM展」
- 2.28.sat / 第30回APM課外授業「ありがとうアート「成長した私」」(上組小、APM連携展覧会) / 会場:APM / 企画:上組小6年生 / 協力:(株)高田建築事務所 / 指導教諭:中村周 / 入館者:24名(上組小6年生含む)

2015年度 (2015.4～2016.3)

- 4.18.sat / 2014年度運営委員会、サポーターズ倶楽部役員会合同会議
- 4.18.sat-6.29.mon / 第19回企画展「イラストレーション・ダイアログ」展 6年間の試み
- 4.18.sat / 第27回美術館大学「イラストレーション・ダイアログについて1」 / 講師:高橋庸平、伊藤彰剛、末房志野、高橋真理、秋山孝 / 受講者:41名
- 4.19.sun / APM蔵 特別公開「秋山孝 学生時代の習作展」 / 来場者:19名
- 5.29.fri / 第30回APM課外授業「APM見学」 / 「イラストレーション・ダイアログ」展 6年間の試み / 上組小6年生 / 参加者:76名
- 5.30.sat / 第28回美術館大学「イラストレーション・ダイアログについて2」 / 講師:高橋庸平、小川雄太郎、御法川哲郎、千田昇平、秋山孝 / 受講者:61名
- 5.31.sun / 第31回APM課外授業「秋山孝 学生時代の習作展について」 / 多摩美術大学大学院生・卒業生 / 講師:秋山孝 / 参加者:33名
- 6.27.sat / 第8回ワークショップ「家族の肖像画を描いてみよう」 / 会場:APM / 参加者:6名
- 7.11.sat-9.26.sat / 第20回企画展 秋山孝の神秘「メタファー」展
- 7.11.sat / APM蔵 特別公開 特別展「秋山孝 学生時代の習作展」 / 来場者:18名
- 7.11.sat / 第29回美術館大学「秋山孝の神秘『メタファー』について」 / 講師:秋山孝、たかだみつみ / 受講者:44名
- 7.11.sat / APM6周年記念懇親会 / 参加者数:43名



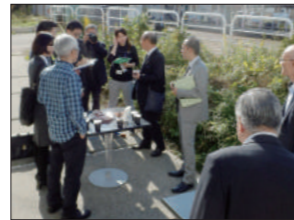
2013.10.6.sun / APM課外授業「『メッセージイラストレーションポスター展5』講評会」



2014.4.19.sat-6.30.mon / 第16回企画展「宮内・榎田屋百景展」



2014.7.12.sat / APM開館5周年記念式典」



2014.10.24.fri / 富山デザイン協議会 APM視察訪問



2014.12.4.thu / 長岡造形大学 特別講義「地震ポスター支援プロジェクトについて」



2015.4.18.sat / 第27回美術館大学「イラストレーション・ダイアログについて1」



2015.9.12.sat / 「日本ブックデザイン賞2015」授賞式

- 8.2.sun、3.mon / 長岡まつり記念 APM蔵 特別公開「秋山孝の習作展」 / 来場者:13名
- 8.5.wed / 第30回美術館大学「榎田屋まちづくり協議会策定のまちづくり協定について」 / 講師:渡辺誠介、高田清太郎、秋山孝 / 受講者:76名
- 8.8.sat / 第9回ワークショップ「ポスターをつくってみよう～ぼく、わたしの夏2015～」 / 会場:APM / 参加者:12名
- 9.6.sun-9.26.sat / 特別展 日本ブックデザイン賞2015展
- 9.12.sat / 日本ブックデザイン賞2015授賞式 / 出席者:97名
- 9.12.sat / APM蔵 特別公開「秋山孝の習作展」 / 来場者:0名
- 10.3.sat-10.31.sat / 第21回企画展「メッセージイラストレーションポスター展7」
- 10.3.sat / APM蔵 特別公開「秋山孝の習作展」 / 来場者:6名
- 10.3.sat / 第31回美術館大学「日本ブックデザイン賞2015について」 / 講師:末房志野、大町駿介、柏大輔、秋山孝 / 受講者:55名
- 10.17.sat / 第10回ワークショップ 長岡造形大学地域協創演習「技法でえほん ～ふしぎ!左右対称の絵本を作ろう～」 / 会場:APM / 参加者:9名
- 11.26.thu / 長岡造形大学講義 1.「地震ポスター支援プロジェクトについて」、2.「作品講評会」 / 講師:1.秋山孝、2.秋山孝、甲賀正彦、御法川哲郎 / 会場:1.長岡造形大学102教室、2.長岡造形大学1Fギャラリー / 受講者:42名
- 11.26.thu / 第3回一流美術館大学 / ゲスト:甲賀正彦、高田清太郎 / 会場:APM蔵 / 参加者:19名
- 3.11.fri / APMの建物を登録有形文化財に登録するよう、国の文化審議会が文部科学省に答申

2016年度 (2016.4～2017.3)

- 4.16.sat / 2016年度運営委員会、サポーターズ倶楽部役員会合同会議
- 4.16.sat-6.27.mon / 第22回企画展「宮内・榎田屋百景展2」
- 4.16.sat / 第32回美術館大学「登録有形文化財について」 / 講師:平山育男、秋山孝、大町駿介 / 受講者:61名
- 4.28.thu / 第33回APM課外授業「APM見学『宮内・榎田屋百景展2』」 / 上組小6年生 / 参加者:76名
- 5.12.thu / 第34回APM課外授業「町探検 in APM『宮内・榎田屋百景展2』」 / 宮内小2年生 / 参加者:31名
- 5.20.fri / 第35回APM課外授業「APM見学『宮内・榎田屋百景展2』」 / 長岡市立青葉台中学校 / 参加者:65名
- 5.28.sat / 第33回美術館大学「創作者における宮内・榎田屋百景の魅力について」 / 講師:平山育男、秋山孝、堀池真美、大町駿介 / 受講者:66名
- 6.10.fri / 第36回APM課外授業「町探検 in APM『宮内・榎田屋百景展2』」 / 宮内小2年生 / 参加者:60名
- 6.25.sat / 第11回ワークショップ「ポスターをつくってみよう2 ～ぼく、わたしが見つけたAPMの魅力～」 / 講師:たかだみつみ / 会場:APM / 参加者:2名
- 7.9.sat-9.24.sat / 第23回企画展 秋山孝の神秘2「点と線」展
- 7.9.sat / 第34回美術館大学「秋山孝の神秘2『点と線』について ～形を失う形の活用の思考～」 / 講師:秋山孝、進行:堀池真美 / 受講者:65名
- 7.9.sat / APM7周年記念懇親会 / 参加者数:54名
- 8.4.thu / 第35回美術館大学「フランク・ロイド・ライトが残した建築工房タリアセンについて」 / 講師:半田雅俊、高田清太郎、秋山孝 / 受講者:82名
- 8.11.thu / 第12回ワークショップ「①ポスターをつくってみよう3 ～ぼく、わたしの夏2016～」 / 「②自画像を描いてみよう ～2016年のぼく、わたし～」 / 講師:御法川哲郎、たかだみつみ / 参加者:9名
- 8.29.mon / 第37回APM課外授業「町探検 in APM『秋山孝の神秘2[点と線]展』」 / 上組小2年生 / 参加者:28名
- 9.4.sum-9.24.sat / 特別展「日本ブックデザイン賞2016展」
- 9.9.fri / 第38回APM課外授業「榎田屋周遊企画し隊」 / 造形大生 / 担当教員:渡辺誠介 / 参加者:10名
- 9.10.sat / 日本ブックデザイン賞2016授賞式 / 出席者:99名
- 10.8.sat-10.31.mon / 第24回企画展「メッセージイラストレーションポスター展8」
- 10.8.sat / 第36回美術館大学「日本ブックデザイン賞2016について」 / 講師:秋山孝、御法川哲郎、高橋庸平 / 受講者:60名
- 10.22.sat-10.31.mon / 上組小 第38回こだま美術館企画展「宮内・榎田屋百景」 / 会場:上組小こだま美術館
- 11.24.thu / 第39回APM課外授業「第2回小学生美術館大学」 / 上組小6年生 / 講師:秋山孝 / 受講者:78名
- 11.24.thu / 第4回一流美術館大学 / ゲスト:甲賀正彦、高田清太郎 / 会場:APM蔵 / 参加者:18名
- 2.14.tsu / 第40回APM課外授業「APM見学」(ピースメモリアルWSの一環) / 参加者:18名(ハワイ大:7名、造形大:11名)
- 2.25.sat / 第41回APM課外授業「わたしたちのすむまち ～スマイル百景～」(上組小、APM連携展覧会) / 会場:APM / 企画:上組小6年生 / 指導教諭:保科理佳 / 入館者:85名

※ 略称について / APM:秋山孝ポスター美術館長岡、多摩美:多摩美術大学、造形大:長岡造形大学、上組小:長岡市立上組小学校
※ 美術館大学の受講者について / 人数は講師を含む



2015.10.17.sat / 第10回ワークショップ・長岡造形大学地域協創演習



2016.3.12.sat / 新潟日報 朝刊 記事「県内30件 有形登録文化財に」



2016.4.16.sat / APMすずめ隊 企画展受付



2016.4.16.sat / 第32回美術館大学「登録有形文化財について」



2016.7.9.sat / 第34回美術館大学「秋山孝の神秘2『点と線』について ～形を失う形の活用の思考～」



2016.9.10.sat / 「日本ブックデザイン賞2016」授賞式

[美術館大学]

開催年	回数	タイトル	講師	受講者数
2009	第01回	「自作を語る」	①	90
	第02回	「理解者を求めて」	①	80
2010	第03回	「建築構造の美1」	①②	35
	第04回	「プランニングと創作活動の情熱」	①③	36
	第05回	「秋山孝 中国ポスターを語る」	①	30
	第06回	「秋山孝 自作を語る」	①	65
	第07回	「中越大地震と創造的復興+APMリノベーション」	①④⑤	45
	第08回	「上組小学校美術館大学 教育・美・感動」	①⑥⑦⑧	48
	第09回	「テンスグロックタワー」「リプズの月」	①②	57
2011	第10回	「メキシコのポスター世界」	①⑨⑩	46
	第11回	「長岡の教育の歴史」	①⑪	64
	第12回	「夢を抱いて明日に希望を！」	①⑫	65
	第13回	「長岡のデザイン教育」	①⑬	43
2012	第14回	「ノー・モア・フクシマ」	①⑤⑨⑬	46
	第15回	「『越後百景十選』について」	①⑮	72
	第16回	「ワルシャワ国際ポスタービエンナーレ」	①⑯⑰	67
2013	第17回	「『高田清太郎の建築デザイン哲学』と『ポーランドポスターの巨匠展』」	①⑮⑰	44
	第18回	「高田清太郎の建築デザイン哲学」	①⑮	73
2013	第19回	「ポーランドポスターの巨匠 in 長岡」	①⑰	68
	第20回	「『声なき声を聞く』秋山孝ポスター展5」	①	60
	第21回	「第1部『秋山孝 自作を語る3』 第2部『我 斯く 建築に向かう』」	①⑱	63
	第22回	「東京装画賞」	①⑲⑳	51
2014	第23回	「宮内・撰田屋百景-1」	①⑲⑳㉑	63
	第24回	「宮内・撰田屋百景-2」	①⑲㉑㉒	64
	第25回	「日本建築学会北陸支部文化賞2作品」	①⑲㉑	93
	第26回	「プルノ国際グラフィックデザインビエンナーレ」	①㉓	52
2015	第27回	「イラストレーション・ダイアログ-1」	①⑲㉑㉒	45
	第28回	「イラストレーション・ダイアログ-2」	①⑲㉑㉒	61
	第29回	「秋山孝の神秘『メタファー』」	①㉑	44
	第30回	「撰田屋まちづくり協議会策定のまちづくり協定」	①⑲㉑	76
	第31回	「日本ブックデザイン賞2015」	①⑲㉑㉒	55
2016	第32回	「登録有形文化財について」	①⑲㉑	61
	第33回	「創作者における宮内・撰田屋百景の魅力」	①⑲㉑㉒	66
	第34回	「秋山孝の神秘2『点と線』」	①⑲㉑㉒	65
	第35回	「建築工房タリヤセン」	①⑲㉑	82
	第36回	「日本ブックデザイン賞2016」	①⑲㉑	60
			合計	

※ 美術館大学の受講者について / 人数は講師を含む



2016.7.9.sat / 第34回美術館大学
「秋山孝の神秘2『点と線』について～形を失う形の活用の思考～」

[一流美術館大学]

開催年	回数	タイトル	講師	参加者数
2014	第01回			9
	第02回	「人ものかたり」「地震プロジェクト」	①⑳㉑	20
2015	第03回	「カラヴァッジオ×レンブラント」	①⑮⑱	19
2016	第04回	「シャルダン、ピカソ、ブラックの静物画」	①⑱	18
			合計	66名

美術館大学、一流美術館大学 講師一覧

①秋山孝、②高藤公男、③牧野圭一、④渡辺斉、⑤高田清太郎、⑥池上秀敏、⑦金澤健志、⑧水谷徹平、⑨U.G.サトー、⑩リンダ・リトー、⑪稲川明雄、⑫豊口協、⑬木村保夫、⑭福田毅、⑮河田博、⑯甲賀正彦、⑰御法川哲郎、⑱平山育男、⑲末房志野、⑳大町駿介、㉑たかだみつみ、㉒山下秀之、㉓柏大輔、㉔高橋庸平、㉕伊藤彰剛、㉖高橋真理、㉗小川雄太郎、㉘千田昇平、㉙渡辺誠介、㉚椿智彦、㉛澤田雅浩、㉜堀池真美、㉝半田雅俊

[入館者数]

年度(4月～3月)	APM	APM蔵	合計	累計
2009年度	1,980名	—	1,980名	
2010年度	1,034名	—	1,034名	3,014名
2011年度	1,005名	—	1,005名	4,019名
2012年度	1,004名	—	1,004名	5,023名
2013年度	1,344名	—	1,344名	6,367名
2014年度	1,861名	395名	2,256名	8,623名
2015年度	1,983名	173名	2,156名	10,779名
2016年度	2,400名	256名	2,656名	13,435名

[APMすすめ隊メンバー数] ※ 長岡造形大学 地域協創演習

年度(4月～3月)	人数
2014年度	6名(3年生2名、2年生4名)
2015年度	4名(3年生4名)
2016年度	23名(3年生8名、2年生15名)
合計	32名(1名重複)



2016.5.28.sat / APMすすめ隊 / 美術館大学準備

2017年「秋山孝ポスター美術館長岡」企画展・美術館大学のご案内

- 第25回企画展 秋山孝ポスター展9 秋山孝の神秘3「パラダイム」展 / 5月13日(土)～9月30日(土)
 - ・ 第37回美術館大学 講演「秋山孝の神秘『パラダイム』について1」
5月13日(土)pm3:00～4:30 / 講師:秋山孝 / 進行:たかだみつみ
 - ・ 第38回美術館大学 講演「秋山孝の神秘『パラダイム』について2」
7月8日(土)pm3:00～4:30 / 講師:秋山孝 / 進行:たかだみつみ
 - ・ 第39回美術館大学 講演「建築における『パラダイム』について」(仮)
8月4日(金)pm3:30～5:00 / 講師:高田清太郎、高田清之介 / 進行:秋山孝

- 特別展「日本ブックデザイン賞2017展」/ 10月8日(日)～10月28日(土)
 - ・ 日本ブックデザイン賞2017 授賞式 / 10月14日(土) pm2:30～

- 第26回企画展「メッセージイラストレーションポスター展9」/ 11月4日(土)～11月26日(日)
 - ・ 第40回美術館大学 / 11月4日(土) pm3:00～4:30

[その他予定]

- 中之口先人館 特別展 / 5月27日(土)～6月25日(日)
- 長岡まちなかミュージアム / 9月1日(金)～9月7日(水)



秋山孝ポスター美術館長岡の建造物は1925年(大正14)に建設されました。以来92年を迎えた歴史的建造物です(長岡市都市景観賞、新潟県建築事務所協会・奨励賞)。2016年(平成28年)8月1日に国の登録有形文化財に登録されました。

APM24
Report-8 2017-2016 Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

発行日 : 2017年4月1日
発行者 : 秋山孝
発行所 : 秋山孝ポスター美術館長岡
〒940-1106 新潟県長岡市宮内 2-10-8 / Tel,Fax : 0258-39-1233
E-mail : info@apm-nagaoka.com URL : http://apm-nagaoka.com

編集 / デザイン: 秋山孝、御法川哲郎
印刷所 : 東銀座印刷出版株式会社 ※無断で複写、複製および使用を禁ず。

APM24
Report-8 2017-2016 Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka

Date of issue : 2017.04.01
Publisher : Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka
2-10-8 Miyauchi Nagaoka-city Niigata 940-1106 Japan / Tel,Fax : 0258-39-1233
E-mail : info@apm-nagaoka.com URL : http://apm-nagaoka.com
Edit / Design : Takashi Akiyama, Tetsuro Minorikawa
Printed in Higashi-Ginza Insatsu-Shuppan Inc.

© 2017 Takashi Akiyama, Published in Japan by Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka.

All right reserved.No part of this book may be reproduced in any form or by any means, electronic or mechanical,including photocopying or recording, or by any information storage and system, without permission in writing from the publisher.

・中綴じ製本 / A4(天地297×左右210mm) ・表紙・本文: ミュルマット菊Y93.5(北越紀州製紙株式会社)



Takashi Akiyama Poster Museum Nagaoka 2017年カレンダー

APMは2017年5月よりAPM・蔵(別館)とAPM(本館)をガイド付きでご案内致します。入館料は無料のまま、開館日が週3日(金・土・日曜日)のみ、事前予約制となります。

開館日: 金、土、日曜日(事前予約制)
開館期間: 2017年5月13日(土)～11月26日(日)
見学時間: am11:00、pm2:00、pm4:00の1日3回
(各回所要時間 約1時間)
休館日: 月、火、水、木曜日
冬期研究・準備休館期間: 2017年11月27日(月)～2018年4月13日(金)
入館料: 無料

「秋山孝ポスター美術館長岡」 2016年4月1日～2017年3月31日

運営委員会

館長: 秋山孝(多摩美術大学教授)
会長: 豊口協(前長岡造形大学理事)
副会長: 牧野忠昌(長岡藩牧野家17代当主)
副会長: 高田清太郎(髙田建築事務所代表取締役社長)
幹事: 秋山善広(大日本印刷株式会社第1営業本部)
幹事: 渡辺誠介(NPO法人醸造の町撰田屋町おこしの会会長)
幹事: 高田勉(髙田建築事務所専務取締役)
幹事: 杉山光三(東北越銀行宮内支店長)
監事: 丸山博(NPO法人醸造の町撰田屋町おこしの会副会長)

事務局

事務局長・学芸員: たかだみつみ(長岡造形大学非常勤講師)
職員: 森山奈帆

サポーターズ倶楽部役員

会長: 高田清太郎(髙田建築事務所代表取締役社長)
副会長: 御法川哲郎(長岡造形大学准教授)
顧問: 秋山孝(多摩美術大学教授)
理事: 覚張良裕(髙田建築事務所専務取締役)
理事: 小川八重子(髙田建築事務所専務取締役)
理事: 今井進太郎(グローバルマーケティング髙代表取締役)
理事: 山本敦(髙ネオス代表取締役)
理事: 渡辺千雅(My-Skip代表)
理事: 高田彰(高田屋商店代表取締役社長)
理事: 平澤広栄(長岡商工会議所)
監事: 脇屋雄介(長岡移動電話システム髙代表取締役社長・放送局長)